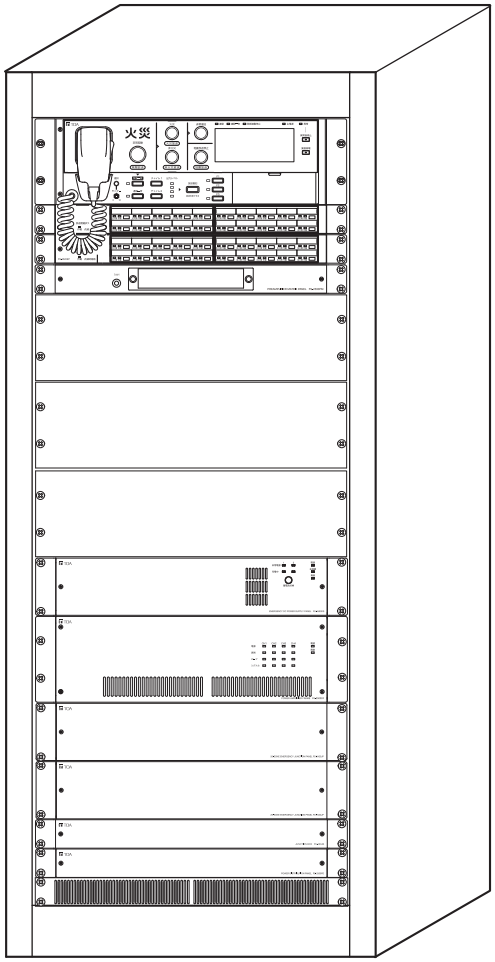
TOA

簡易取扱説明書

キャビネットラック型非常用放送設備　型名 FS-2500

（FS-2500DS、FS-2500PD 対応版）



お知らせ

本書は、FS-2500 システムのうち、720 W、40 局以下のシステムを構築できるように、標準的なシステム例をあげて、設置時に必要な設定や動作点検のしかたなどをピックアップして説明しています。
FS-2500PM や FS-2500EX を使用した 720 W、40 局以上のシステムや詳細な設定が必要なシステム、および FS-2100DS や FS-2136DA などを使用したシステムなどについては、別冊の設置説明書、操作説明書、システム設定説明書に記載していますので、そちらをお読みください。
これらの説明書は、TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/）からダウンロードしてお使いいただけます。タブレット端末やスマートフォンなどでブラウザーを起動して URL を入力するか、右下の QR コードを読み取ってください。表示された画面で品番「FS-2500EP」を入力し、検索してください。
同サイトからは、パソコンを使用して設定できる設定支援ソフトウェア FS-2500 Manager および FS-2500 設定支援ソフトウェア取扱説明書もダウンロードできます。パソコンが使用できる環境にあるときは、これらもご利用いただくと便利です。

当社では、環境に配慮して、紙資源の削減に取り組んでおります。
ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

このたびは、TOA キャビネットラック型非常用放送設備をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの簡易取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目　次

安全上のご注意 3

ニカド電池のリサイクルについて 5

電源コードの取り扱いについて
（FS-2500DF、FS-2500DS に適用） 5

全体の流れ 6
- 事前準備 6
- 設定と動作試験の大まかな手順 6

システム接続例 7
- 機器構成 7
- 架内機器接続図 8
- 常用電源の接続 9
- ニカド電池の接続 10
- パワーアンプフレームの接続 10
- スピーカーラインの接続 11
- アース線の接続 12
- 自火報との接続 13
- 非常用リモコンの接続 14
- 業務用リモコンの接続 15
- 業務用リモコン複数台接続時の設定 16
- 業務用リモコンのアドレスの設定 17
- RM-200F と RM-210F の連結のしかた 18

各種設定 19
- システム設定で使用するキー 19
- メニュー構成 20
- メニューへの入りかた 21
- 時刻の設定 21
- 機器の構成確認 21
- 非常放送の動作設定 23
- 業務放送の動作設定 26
- システム設定を終了する 29
- 設定が終わったら 29

動作確認・異常箇所の確認 30
- 総合点検の設定 30
- 異常検知と異常箇所の確認 30

付　録 31
- 登録音源リスト 31
- 出荷状態一覧 32

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない
本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない
表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

安全アースを接続する（FS-2500PD/2006DS のみ）
次のことを守ってアース接続してください。
守らないと、感電の原因となります。
- 安全アース線は、上記の各機種に付属のものを使用する。
- アース線は、専用のアース端子に接続する。
- ガス管、水道管、電話線のアース、機器の機能アースには接続しない。
- アース接続は、電源プラグを差し込む前に行う。
  また、アース接続を外す場合は、電源プラグを抜いて行う。

アース線を接続せよ

配線後は端子カバーを取り付ける
ハイインピーダンスラインのスピーカー端子には最大 100 V の電圧がかかりますので、触れると感電の原因となります。

強　制

万一、異常が起きたら
次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき

電源プラグを抜け

内部を開けない、改造しない
内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

内部に異物を入れない
本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

設置場所の強度を確認する（RM-200FW/220FW のみ）
取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。

強　制

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

ラックに取り付けるときの注意

次のことを必ずお守りください。
守らないと、火災・けがの原因となります。

- ラックは安定したところに据え付け、アンカーボルトなどで転倒・移動防止の処置を行うこと。
- 電源コードをコンセントに接続するときは、コンセントの許容電流を超えないこと。
- 本機に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。

強　制

通線口を開けたときは端面処理をする（RM-200FW のみ）

RM-200FW の上下方向から配線する場合に、通線口を開けたときは、端面処理をしてください。
処理をしないと、けがの原因となります。

強　制

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、通風口にほこりがたまらないよう定期的に掃除をしてください。

禁　止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

AC アダプターは指定のものを使用する

（RM-200F/200FW/1100 をローカル給電で使用する場合のみ）
指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

強　制

ニカド電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。
守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れたりしない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- （＋）と（－）に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。

強　制

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

ニカド電池のリサイクルについて

ニカド電池のリサイクルにご協力ください

FS-2500 システムの非常用電源パネルおよび業務用電源パネルにはニカド電池を使用しています。
ニカド電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。
ニカド電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。
使用済みのニカド電池は、捨てないで、お買い上げの販売店または当社営業所へ返却してください。

電源コードの取り扱いについて（FS-2500DF、FS-2500DS に適用）

付属の電源コードは、各機器専用品です。
それ以外の機器に使用しないでください。

全体の流れ

■ 事前準備

FS-2500EP には本書のほか、「FS-2500 設定表」と「FS-2500 設定記入例」が付属されています。
あらかじめ「FS-2500 設定表」に設定内容を記入しておいてください。
「FS-2500 設定記入例」は以下のようなシステムです。
　　回線数：40 回線、アンプ容量：720 W、業務用リモコン：あり、非常用リモコン：あり、音源機器：あり

■ 設定と動作試験の大まかな手順

本書では、付属の「FS-2500 設定記入例」の設定内容に沿って、設定のしかたおよび動作試験の説明をします。
ラック組配出荷後の状態から開始する、大まかな手順は以下のとおりです。

1 機器の構成を確認する。（☞ P. 21「機器の構成確認」）

ラック内の機器構成はラック組配出荷時に設定されています。変更の必要な項目を設定します。

↓

2 非常放送の設定をする。（☞ P. 23「非常放送の動作設定」）

↓

3 インピーダンスチェックをする。
（☞ P. 26「回線インピーダンスの測定」）

スピーカーから音声を出力して良い場合は実測（☞ P. 26）を行い、音声を出力できない場合は手動（☞ P. 26）で設定します。

↓

4 業務放送の設定をする。（☞ P. 26「業務放送の動作設定」）

↓

5 総合点検をする。（☞ P. 30「総合点検の設定」）

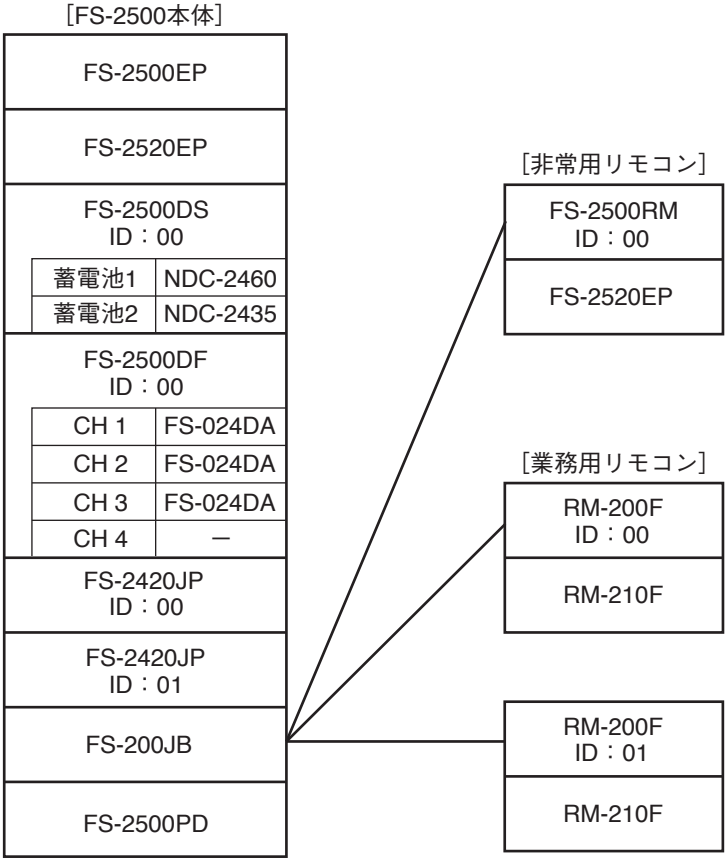
点検にあたってはスピーカー出力の有無、点検時の音源などの条件を設定できます。条件を設定してから点検を開始します。

システム接続例

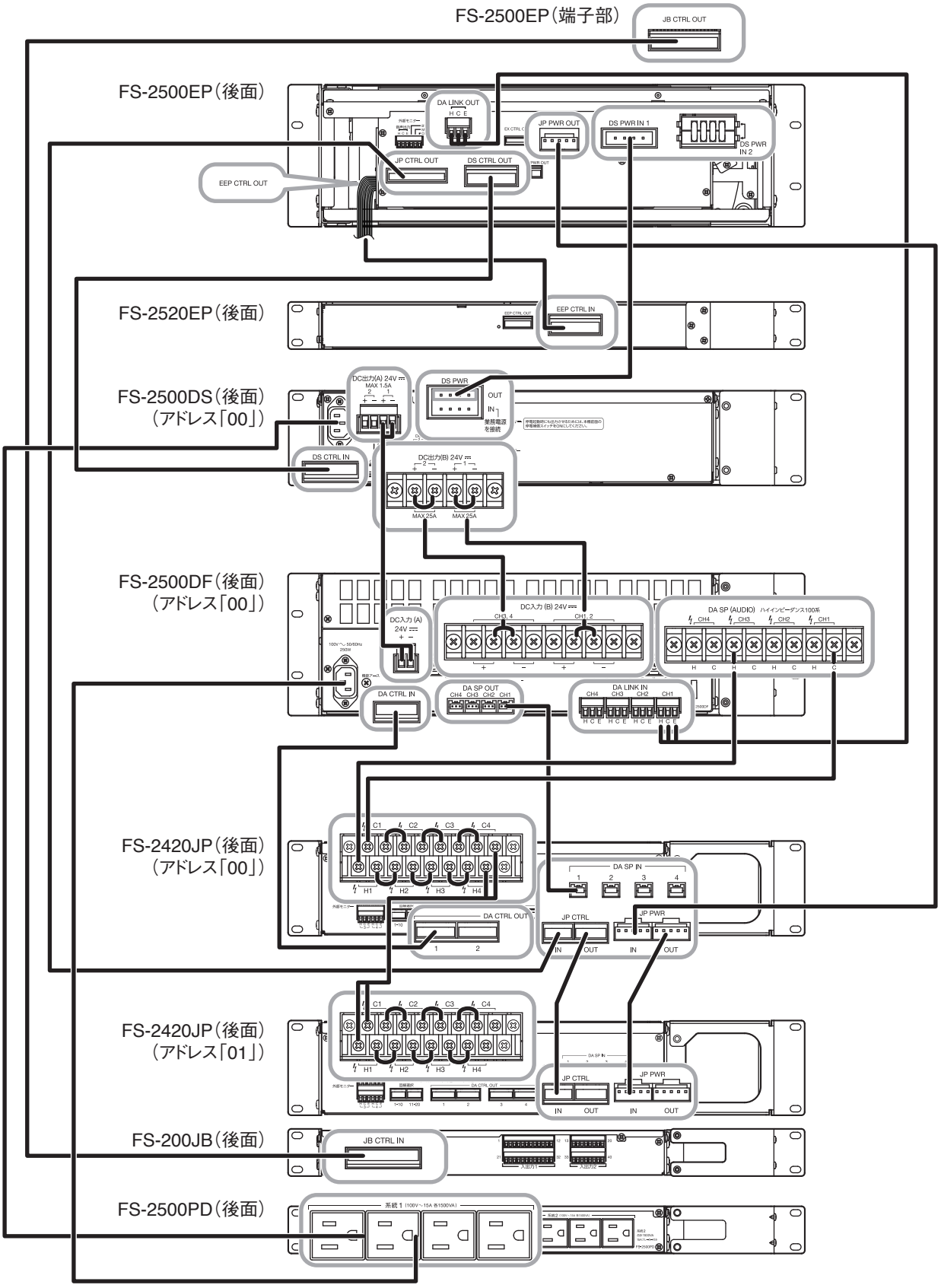
付属の「FS-2500 設定記入例」を基に説明します。

■ 機器構成

付属の「FS-2500 設定記入例」の場合、機器の構成は下図のようになっています。



■ 架内機器接続図

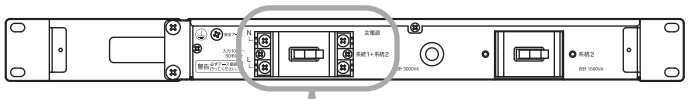

FS-2500EP（端子部）
JB CTRL OUT
FS-2500EP（後面）
DA LINK OUT
JP PWR OUT
DS PWR IN 1
DS PWR IN 2
JP CTRL OUT
DS CTRL OUT
EEP CTRL OUT
FS-2520EP（後面）
EEP CTRL IN
FS-2500DS（後面）
（アドレス「00」）
DC出力(A) 24V
MAX 1.5A
DS PWR
OUT
IN
業務電源を接続
DS CTRL IN
DC出力(B) 24V
MAX 25A
MAX 25A
FS-2500DF（後面）
（アドレス「00」）
DC入力 (A) 24V
DC入力 (B) 24V
CH3, 4
CH1, 2
DA SP (AUDIO)
ハイインピーダンス100系
CH4
CH3
CH2
CH1
DA CTRL IN
DA SP OUT
DA LINK IN
FS-2420JP（後面）
（アドレス「00」）
C1
C2
C3
C4
H1
H2
H3
H4
DA SP IN
DA CTRL OUT
JP CTRL
JP PWR
IN
OUT
FS-2420JP（後面）
（アドレス「01」）
FS-200JB（後面）
JB CTRL IN
FS-2500PD（後面）
系統1

■ 常用電源の接続

重　要

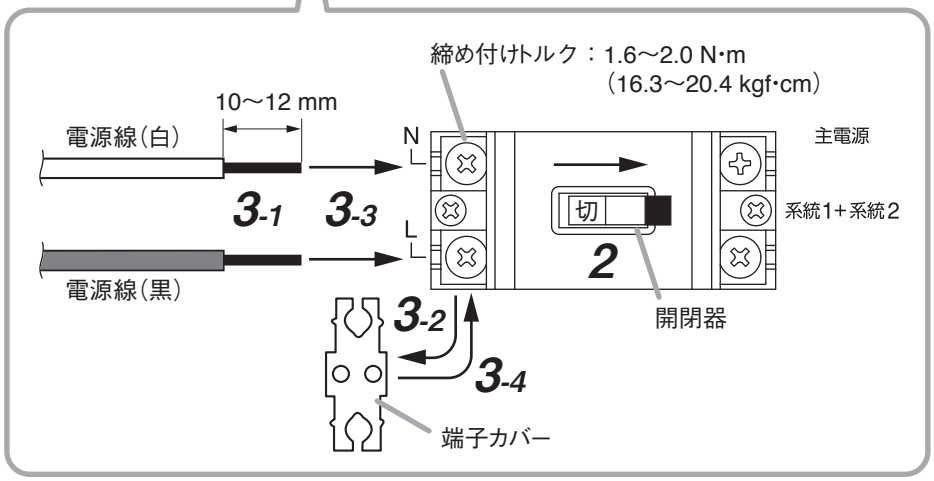
- AC100 V 電線の配線工事には電気工事士の資格が必要です。
- 非常用放送設備の電源は必ず専用配線とし、途中にコンセントや他の業務用放送設備などに接続せず、直接分電盤の開閉器へ接続してください。
- 分電盤から分岐後の非常用放送設備で使用する開閉器および本体の開閉器（FS-2500PD）には非常用放送設備専用電源である旨の表示が必要です。それぞれの開閉器に、FS-2500PD に付属の「非常用放送設備専用電源ステッカー」を貼り、非常用放送設備の専用電源であることを明示してください。
- 開閉器および電線は放送設備の消費電力に応じた容量のものを選んでください。
- 電線の絶縁被覆がねじ止めされないよう注意して接続してください。
- 端子ねじは標準締め付けトルクで確実に締め付けてください。
- 電線には IV、VVF、または VVR ケーブルを使用し、かつ導体直径が 1.6 mm 以上の軟銅線、またはこれと同等以上のものを用意してください。

FS-2500PD（前面パネル内部）



⚠ 警告

配線後は必ず端子カバーを取り付けてください。
触れると感電の原因となります。



1 分電盤の開閉器を「切」にする。

2 電源分配パネル FS-2500PD の開閉器を「切」にする。

3 電源線を FS-2500PD の開閉器に接続する。

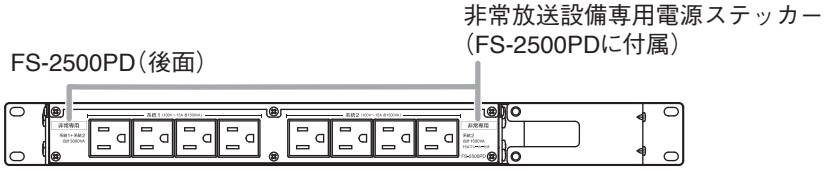
3-1 電源線の被覆をむく。

3-2 FS-2500PD の開閉器の端子カバーを外す。

3-3 電源線を開閉器に挿入し、端子ねじを締める。

3-4 FS-2500PD の開閉器に端子カバーを取り付ける。

4 非常用放送設備で使用する分電盤および FS-2500PD の開閉器に非常放送設備専用電源ステッカー（FS-2500PD に付属）を貼る。



■ ニカド電池の接続

⚠注意

- ニカド電池を、ショート・分解・加熱・火の中に入れるなどしないでください。
- 取り出したニカド電池は、ショート防止のために、端子に絶縁テープを貼るなどの対策を行ってください。
- FS-2500DS のニカド電池には、**NDC-2435** または **NDC-2460** をご使用ください。

1 **前面パネル取付ねじを緩めて、前面パネルを取り外す。**

2 **指定のニカド電池を蓄電池収納部に挿入する。**

ニカド電池のケーブルにストレスがかからないよう、ケーブル取付部の位置に注意して挿入してください。

3 **ニカド電池を接続する。**

蓄電池コネクター 1 に NDC-2460、蓄電池コネクター 2 に NDC-2435 を接続してください。

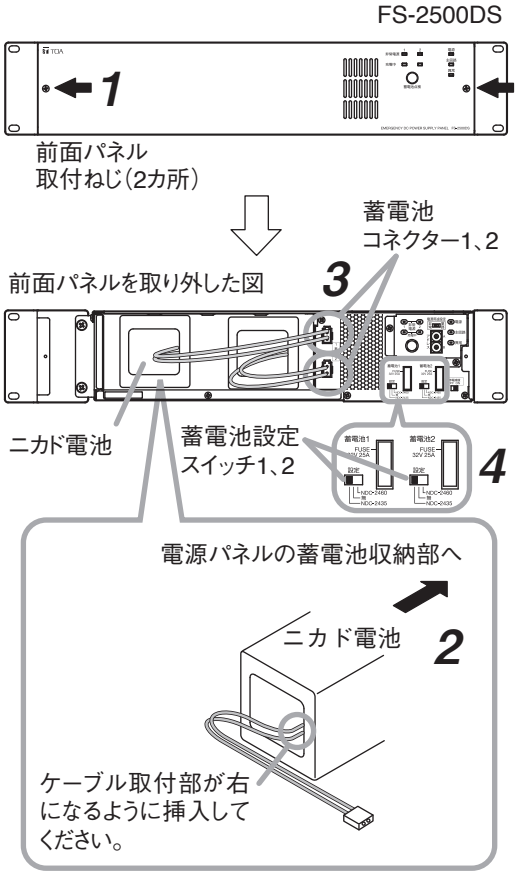
4 **蓄電池設定スイッチを使用するニカド電池に合わせて設定する。**

蓄電池設定スイッチ 1 を「NDC-2460」、蓄電池設定スイッチ 2 を「NDC-2435」に設定してください。

5 **前面パネルを元どおりに取り付ける。**

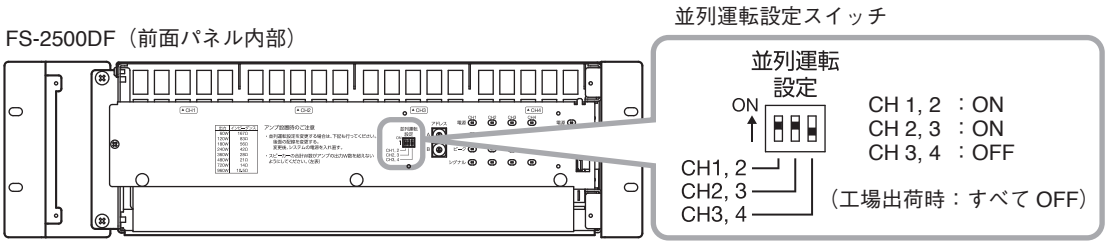
ご注意

前面パネルでニカド電池のケーブルをはさみ込まないように注意してください。



■ パワーアンプフレームの接続

並列運転設定スイッチの設定により、デジタルアンプモジュールの入出力端子が異なります。
接続例ではチャンネル 1、2、3 を並列運転するので、並列運転設定スイッチを以下のように設定してください。



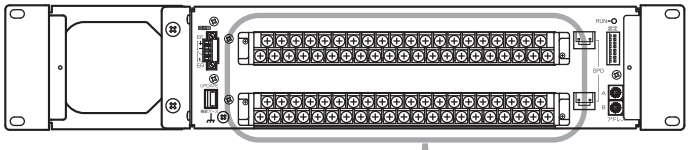
■ スピーカーラインの接続

非常用ジャンクションパネルの各スピーカー出力端子にスピーカーライン N､R､C を接続してください。（アッテネーターを取り付けない場合は R 線は接続の必要がありません。）
必ず階別に独立した配線をしてください。また、1 つの階に 2 つ以上の回線を設けるときは、階ごとにまとめて非常放送ができるようにシステム設定をしてください。

⚠ 警告

- ϟの表示されている端子には危険電圧がかかります。外部電線の接続には「適正な取扱指導を受けた人」が接続作業を行うか、簡単接続できるよう製作したケーブルを使用する必要があります。
- 配線後は必ず端子カバーを取り付けてください。
  端子に触れると感電の原因となります。

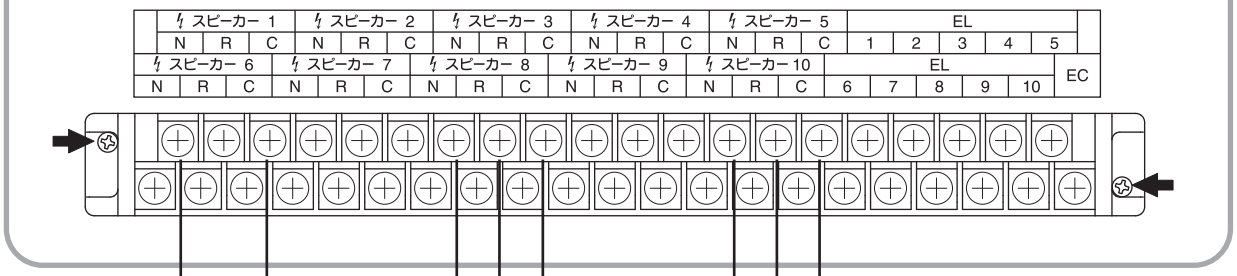
FS-2420JP（端子部）

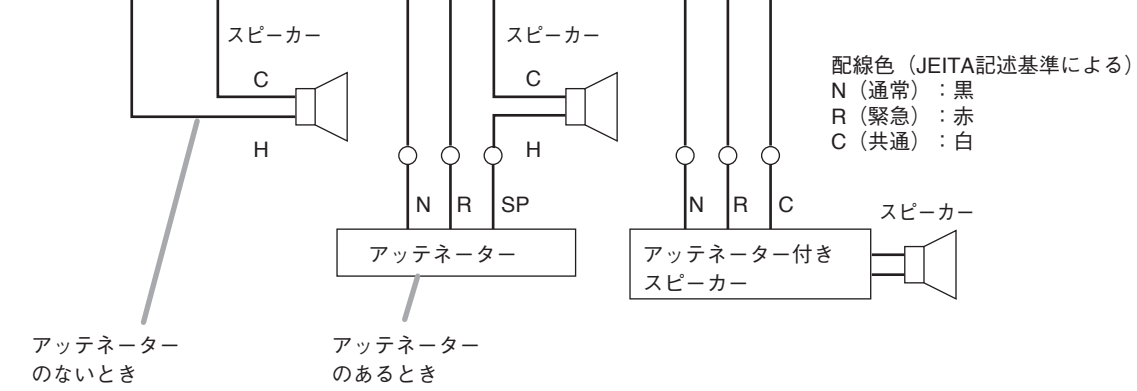


メ モ

外線の接続時には端子台を取り外すと作業が容易になります。
矢印（ ⬅ ）で示したねじ2本をゆるめるとプラグ側端子台が取り外せるようになり、本体と端子部の回路の分離ができます。
再度装着するときは、ゆるめたねじを最後までしっかりと締め付けてください。

スピーカー出力端子台





ご注意

- 1 回線当たりの容量は 360 W までです。360 W を超える場合は、2 回線以上に分けてください。
- 接続時は、金属管工事または金属ダクト工事を行うか、あるいは消防用耐熱電線を使用してください。

■ アース線の接続

FS-2500 シリーズ各ユニットのアース端子とラックのアース端子板を接続します。

⚠ 警告

- アース線は、各ユニットに付属のものを使用してください。
- アース線は、専用のアース端子に接続してください。
- 安全アース（感電防止用）および機能アース（サージ保護用）を必ず接続してください。

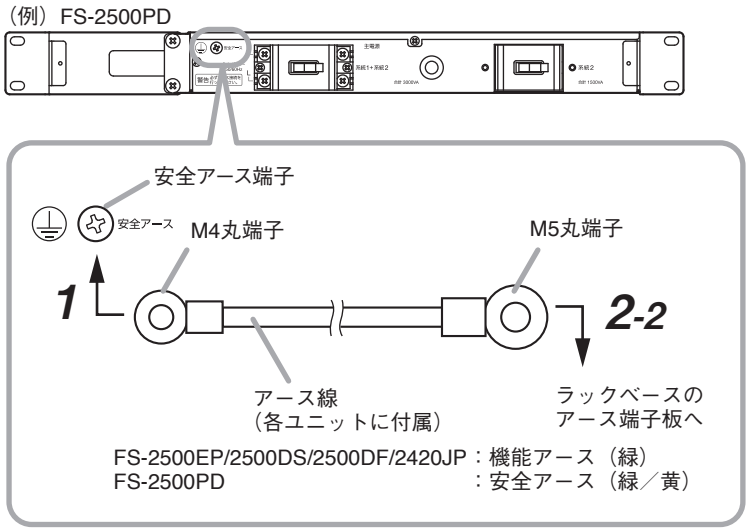
1 各ユニットの安全アース端子および機能アース端子に、アース線の M4 丸端子を取り付ける。

2 ラックのアース端子板にアース線の M5 丸端子を取り付ける。

2-1 ラックベースに設けられたタップにアース端子板を取り付ける。

※ アース端子板については当社営業所にお問い合わせください。

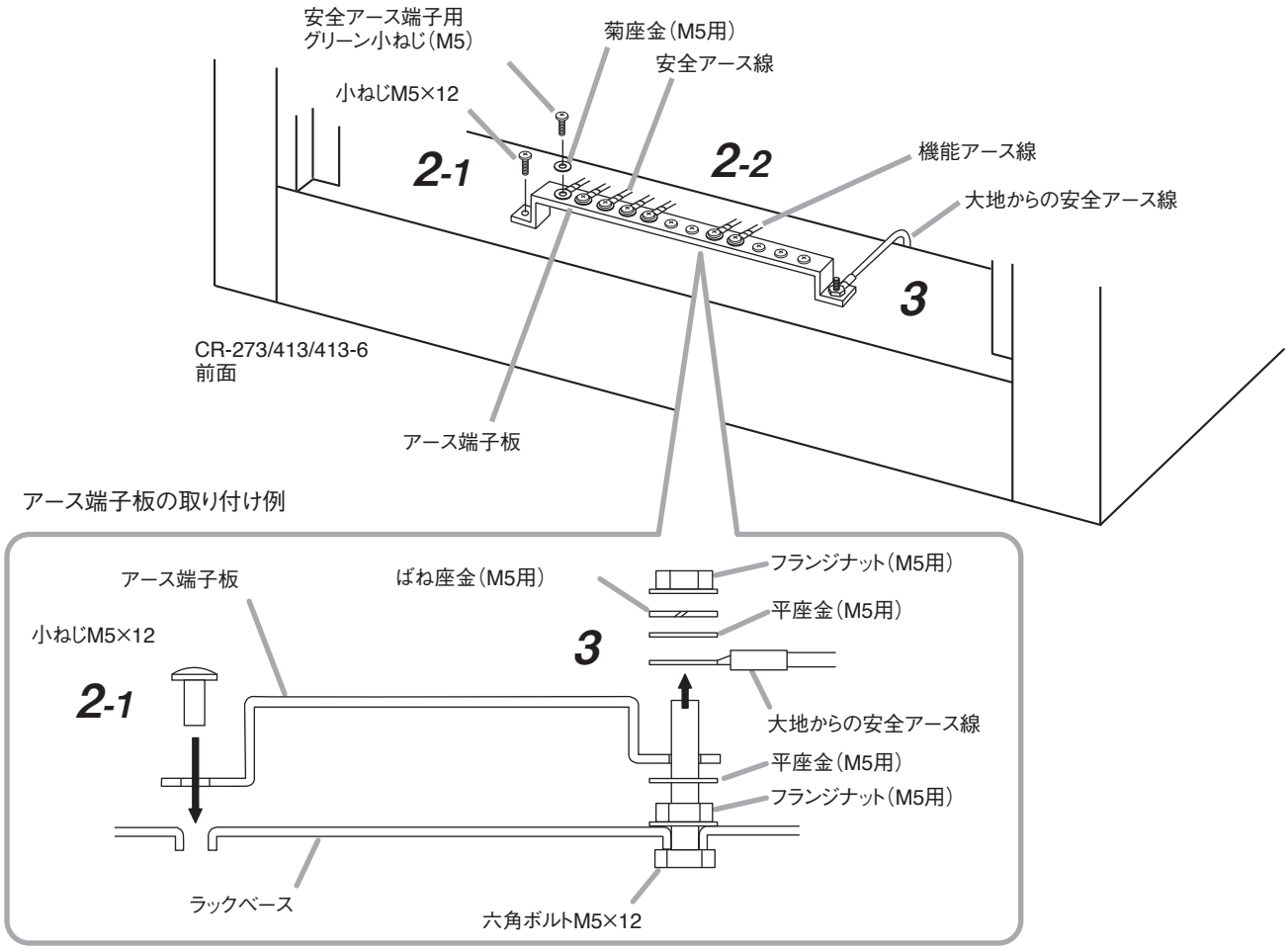
2-2 アース端子板に各ユニットのアース線の M5 丸端子を接続する。



ご注意

- 機能アース線と安全アース線を同じ端子に接続しないでください。
- 安全アース線同士の共締めは、安全アース端子用グリーン小ねじ 1 本につき 2 本まで可能です。

3 大地からの接地線をアース端子板に接続し、ラックのアースを取る。

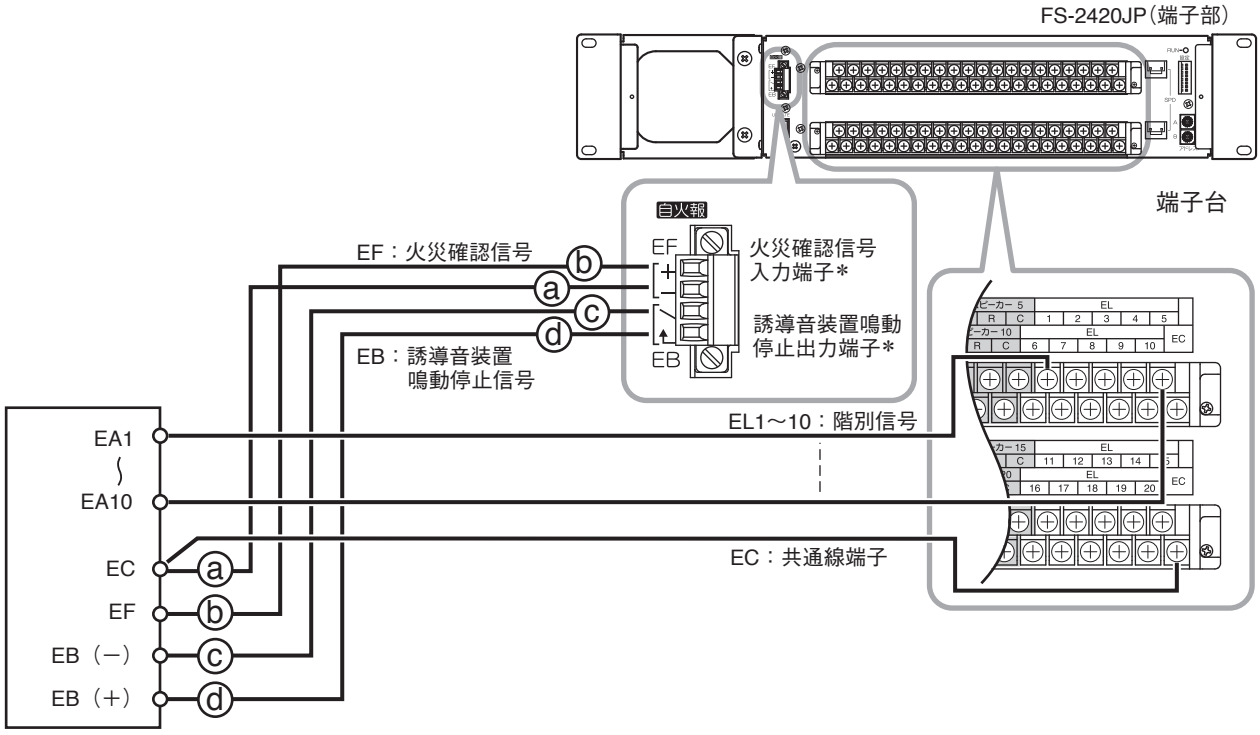


■ 自火報との接続

自火報と非常用ジャンクションパネルを接続することによって、感知器発報により自動的に音声警報放送を行うことができます。

● 接続のしかた

自火報で地区音響装置（以下、地区ベルと呼ぶ）を鳴動させる場合は、音声警報放送（第 2 シグナルを除く）およびマイク放送中に地区ベルを停止させるため、誘導音装置鳴動停止信号出力端子（EB）を相互に接続する必要があります。
非常用ジャンクションパネルが複数台のときは、すべての火災確認信号入力端子（EF）および誘導音装置鳴動停止信号出力端子（EB）は同じ動作となります。任意の非常用ジャンクションパネルの火災確認信号入力端子（EF）、誘導音装置鳴動停止信号出力端子（EB）を接続してください。



＊ 付属の着脱式ターミナルプラグを使用して続します。

ご注意

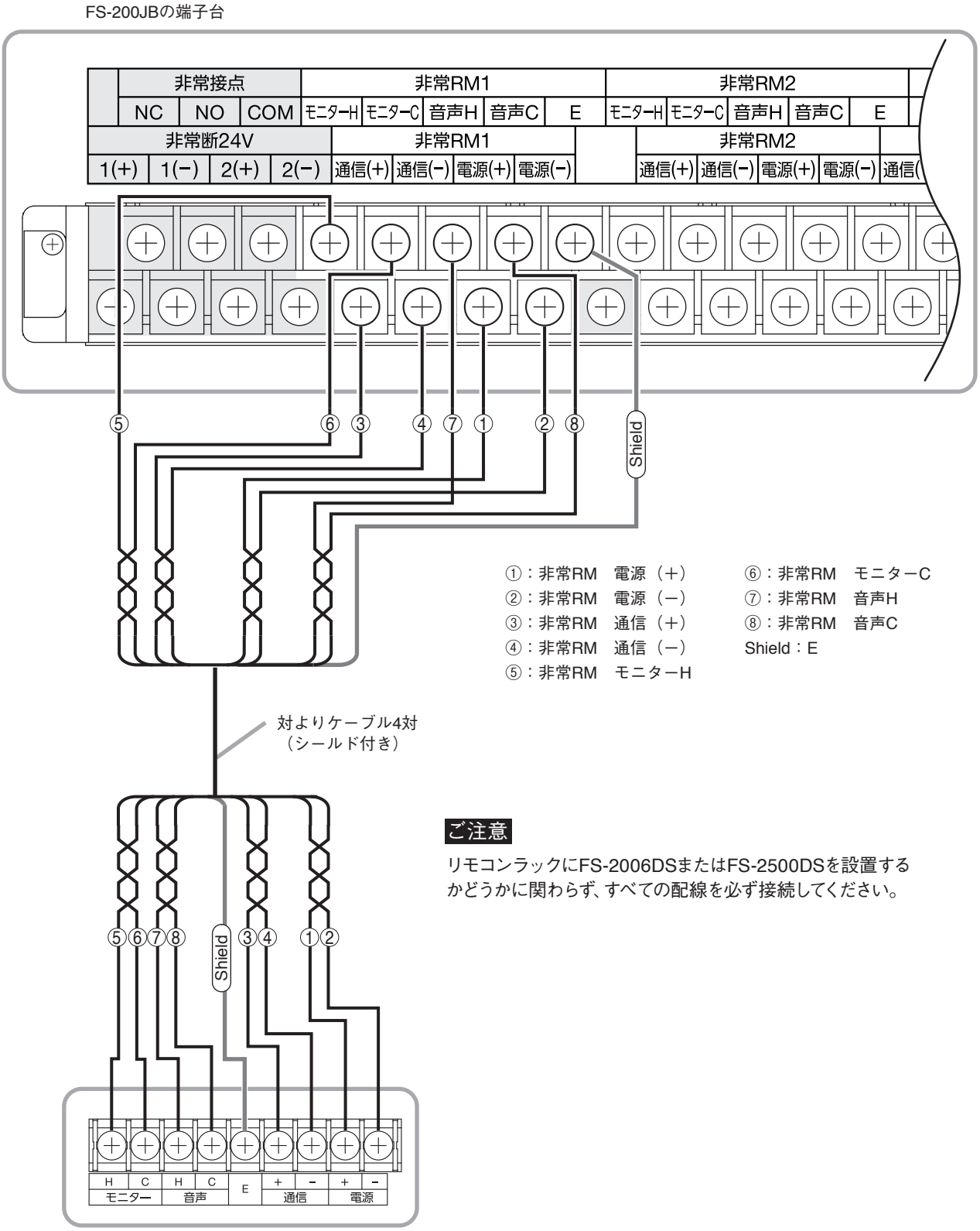
- 階別信号（EL）は、非常用ジャンクションパネルの各端子と同じ放送区域の信号であることを十分に確認してください。
- 自火報の各接点は、無電圧メイク接点で DC30 V、200 mA 以上の接点容量が必要です。接点の ON 抵抗は 100 Ω以下とし、チャタリングのない安定した信号を入力してください。
  階別信号入力端子（EL）と火災確認信号入力端子（EF）のメイク時に流れる最小電流は 1 mA です。
  起動に必要なメイク時間は 300 ms 以上です。（メイク時間が 100 ms 未満だと起動しません。）
- 自火報と非常用ジャンクションパネル間の配線の線路抵抗は、50 Ω以下にしてください。
- 接続時は、金属管工事または金属ダクト工事を行うか、あるいは消防用耐熱電線を使用してください。

● 非常電話との接続

FS-2500 本体に非常電話機を接続する場合は、非常用ジャンクションパネルの階別信号入力端子（EL）と火災確認信号入力端子（EF）に接続してください。

■ 非常用リモコンの接続

接続端子盤パネル FS-200JB と非常用リモコン FS-2500RM の同じ名称の端子同士を接続してください。
FS-200JB の非常用リモコン接続端子は、非常 RM1 接続端子と非常 RM2 接続端子があります。非常用リモコンはいずれの接続端子に接続しても構いません。
接続時は、金属管工事または金属ダクト工事を行うか、あるいは消防用耐熱電線の対よりケーブル 4 対（シールド付き）を使用してください。



ご注意

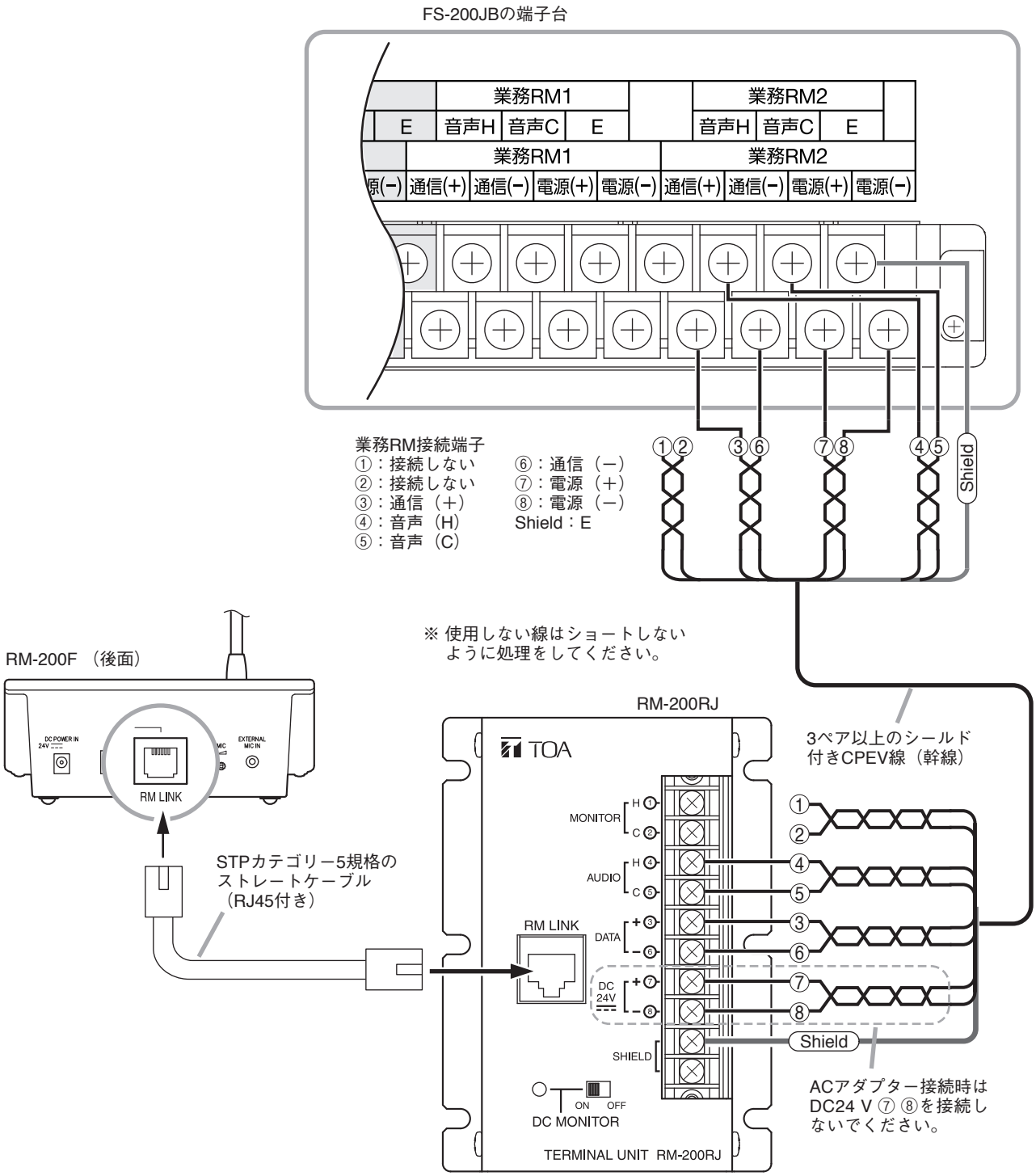
リモコンラックにFS-2006DSまたはFS-2500DSを設置するかどうかに関わらず、すべての配線を必ず接続してください。

■ 業務用リモコンの接続

接続端子盤パネル FS-200JB と業務用リモコン側の接続端子を接続します。
FS-200JB のリモートマイク接続端子は、業務 RM1 接続端子と業務 RM2 接続端子があります。業務用リモコンはいずれの接続端子に接続しても構いません。各端子に業務用リモコンを 4 台まで接続できます。

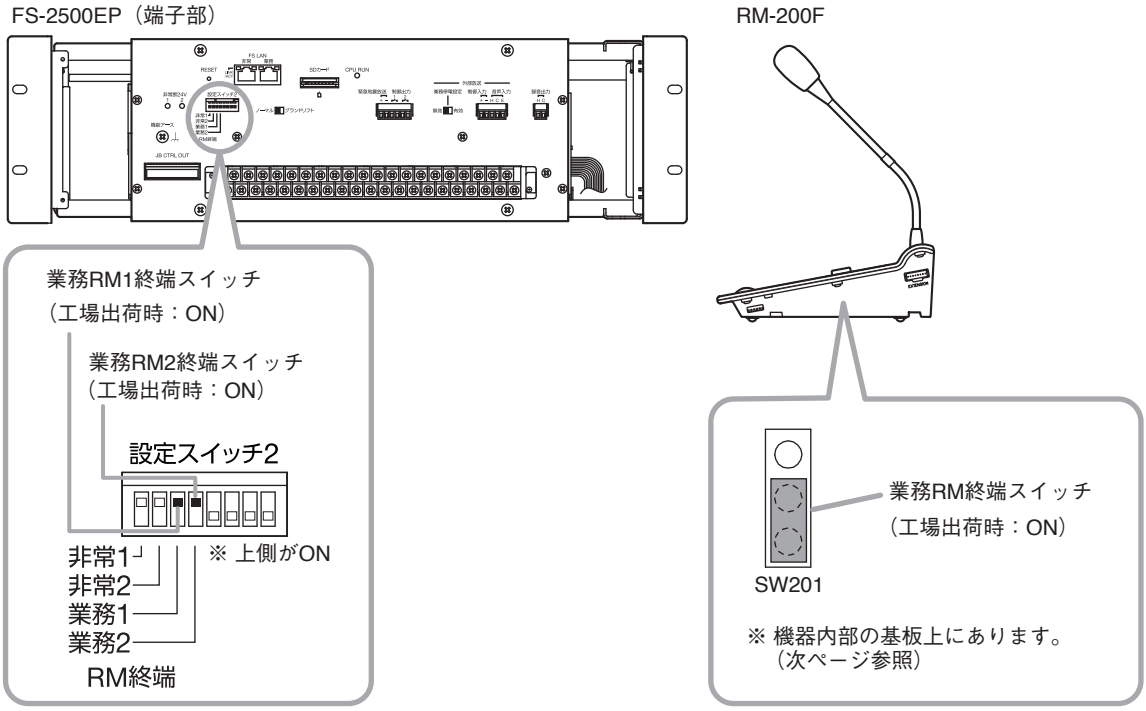
ご注意

1 つの端子に業務用リモコンを複数台接続する場合は、必ず FS-2500 本体側で分岐してください。



■ 業務用リモコン複数台接続時の設定

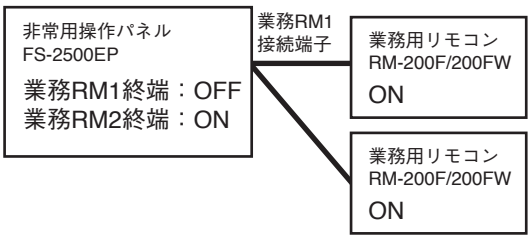
RM-200F または RM-200FW を合わせて 2 台以上接続するときは、FS-2500 本体の非常用操作パネルの業務 RM1/2 終端スイッチと各 RM-200F/200FW の業務 RM 終端スイッチの両方の設定が必要です。
接続する RM-200F と RM-200FW を合わせた台数によって、下表のように設定してください。



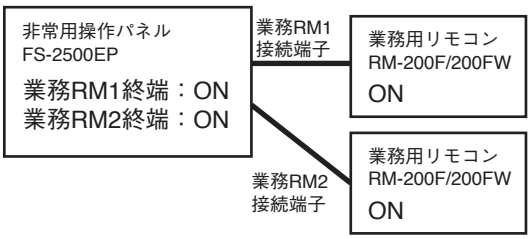
RM-200F＋RM-200FW の接続台数（台）	FS-2500EP 業務RM1/2終端スイッチ設定	RM-200F/200FW RM終端スイッチ設定
0	ON	—
1	ON	ON
2	OFF	ON
3	ON	OFF
4	ON	OFF

ご注意
終端スイッチを正しく設定していないと、機器が正常に動作しないことがあります。

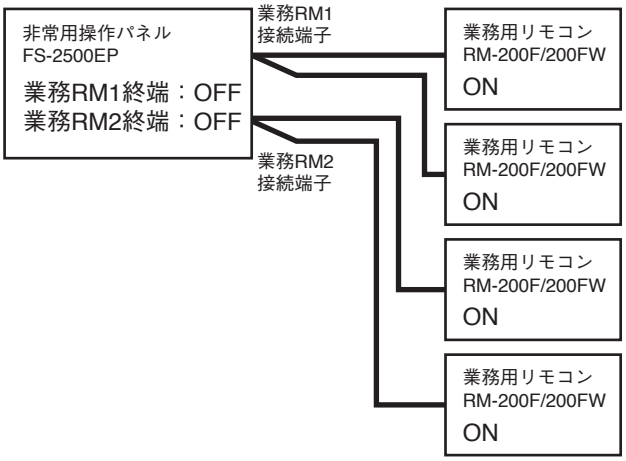
業務RM1端子に2台接続



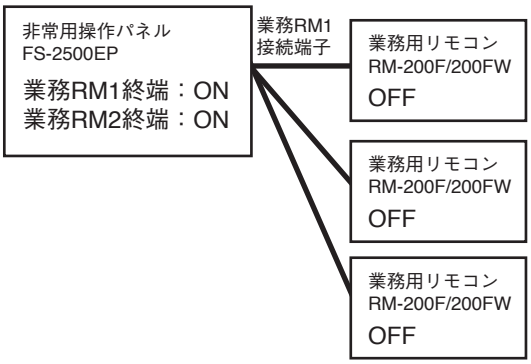
業務RM1/2端子に各1台接続



業務RM1/2端子に各2台接続



業務RM1接続端子に3台接続



警告　ここに記載の作業は専門業者にご依頼ください。
お客様ご自身で、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

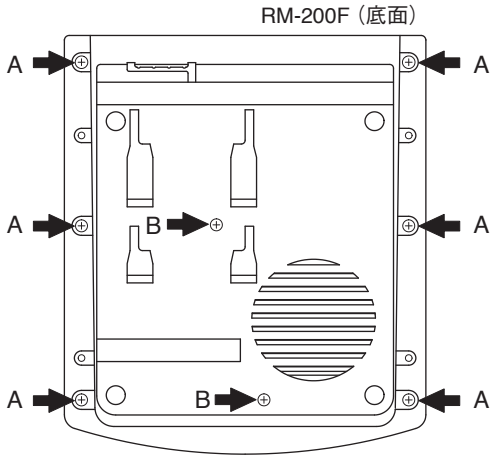
ご注意

- 設定作業は RM-200F に電源を供給していない状態で行ってください。
- 基板上の部品には触れないでください。静電気により故障する恐れがあります。

1 RM-200F の上ケースを開ける。

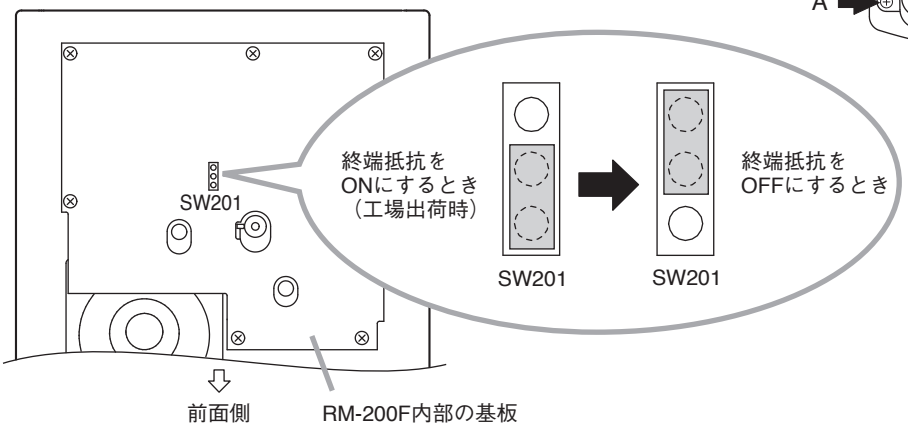
8 本のねじを外して上ケースを開けます。

A：タッピンねじ 3 × 8（白銀色）..... 6 本
B：タッピンねじ 3 × 10（黒色）..... 2 本



2 基板上のジャンパーの設定をする。

下ケースに取り付けられている基板上のジャンパー SW201 を、使用するリモコンの台数により前ページのとおり「ON」または「OFF」に設定します。



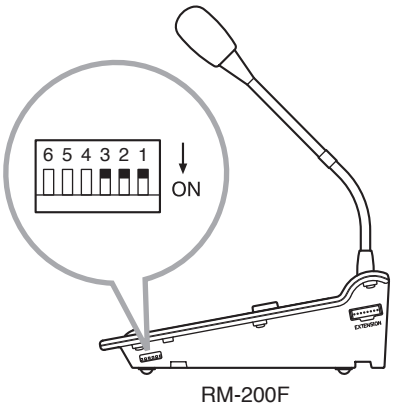
3 RM-200F の上ケースを元どおりに取り付ける。

ご注意

上ケースを取り付けるときは、ねじの種類に注意してください。

■ 業務用リモコンのアドレスの設定

RM-200F 側面の「DIP スイッチ 1 ～ 3」でアドレスを設定します。
アドレスはすべての RM-200F、RM-200FW で重複しないように設定してください。



アドレス	DIPスイッチ3	DIPスイッチ2	DIPスイッチ1	スイッチの位置図
00	OFF	OFF	OFF	3 2 1
01	OFF	OFF	ON	3 2 1
02	OFF	ON	OFF	3 2 1
03	OFF	ON	ON	3 2 1
04	ON	OFF	OFF	3 2 1
05	ON	OFF	ON	3 2 1
06	ON	ON	OFF	3 2 1
07	ON	ON	ON	3 2 1

※ 工場出荷時のアドレスは「00」に設定されています。

■ RM-200F と RM-210F の連結のしかた

卓上型リモートマイク拡張ユニット RM-210F を使用して RM-200F を拡張する場合は、RM-210F に付属の拡張ケーブルと連結金具を使用してお互いを連結します。
RM-200F に接続できる RM-210F の台数は最大 7 台です。

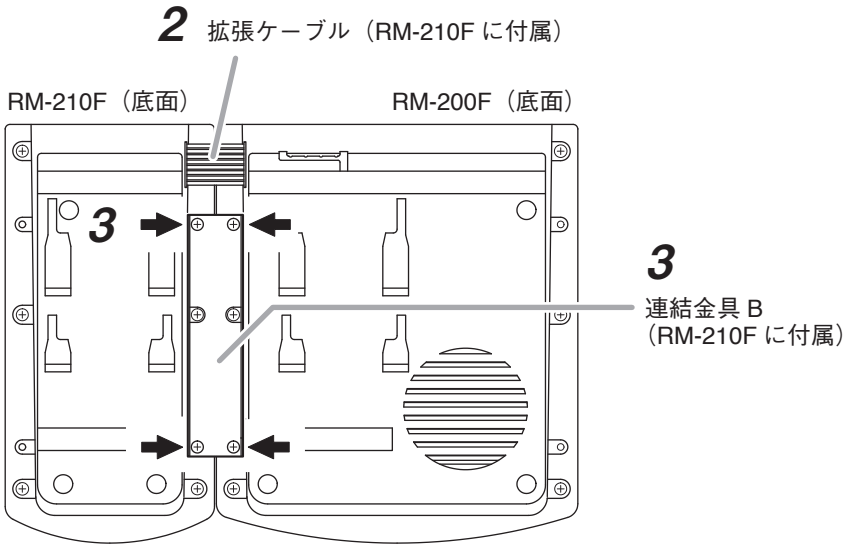
使用金具（RM-210F に付属）	連結金具 A …… 2、 連結金具 B …… 1、 ねじ …… 12

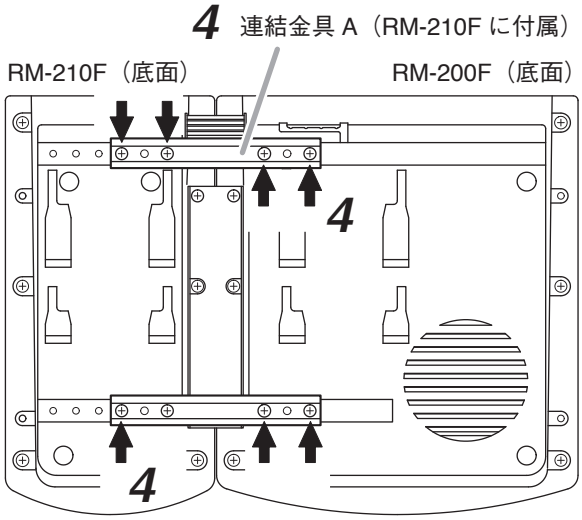
1 RM-200F と RM-210F を裏返して、お互いを密着させる。

2 RM-210F に付属の拡張ケーブルで、RM-200F 側面の RM-210F 接続端子（EXTENSION）と RM-210F 側面の EXTENSION コネクターを接続する。

3 RM-210F に付属の連結金具 B と付属ねじ（4 本、➡）を使用して、RM-200F と RM-210F を連結する。

4 RM-210F に付属の連結金具 A（2 本）と付属ねじ（8 本、➡）を使用して、RM-200F と RM-210F をしっかりと固定する。



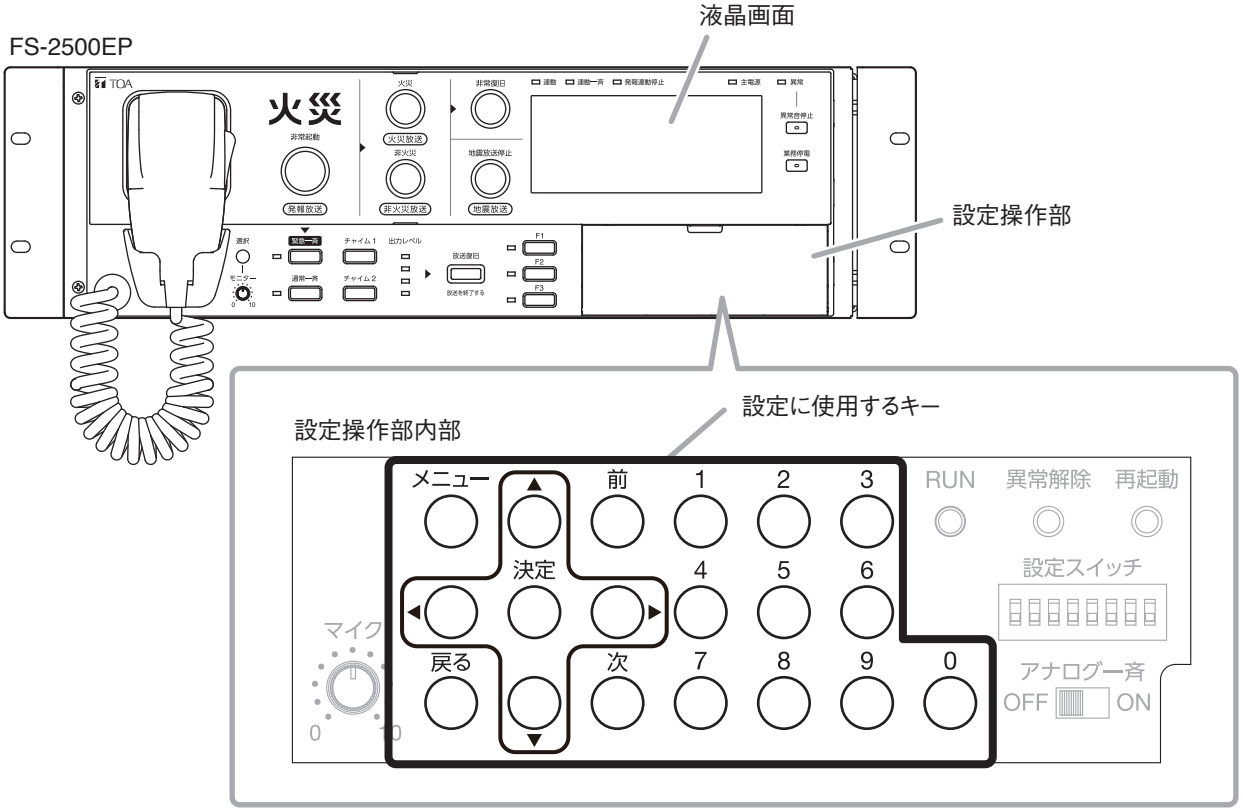


ご注意

- 連結金具 A には、予備のねじ穴が 2 カ所あります。指示したねじ穴が損傷しているときは、予備のねじ穴を利用して 2 台を連結させてください。
- 両機器の間で接続間違いやケーブルのゆるみがあれば、金具取付ねじをすべて外し、もう一度ねじを締めて連結させてください。

各種設定

■ システム設定で使用するキー



キー	名称	はたらき
メニュー	メニューキー	動作選択メニュー画面を表示させます。 設定画面で押すと、設定内容を保存して、動作選択メニュー画面に戻ります。
▲	上シフトキー	カーソルを 1 つ上に動かします。 押し続けるとカーソルを連続で移動させます。
▼	下シフトキー	カーソルを 1 つ下に動かします。 押し続けるとカーソルを連続で移動させます。
◀	左シフトキー	カーソルを 1 つ左に動かします。または、設定内容を変更します。 押し続けるとカーソルを連続で移動させたり、設定内容を連続で変更します。
▶	右シフトキー	カーソルを 1 つ右に動かします。または、設定内容を変更します。 押し続けるとカーソルを連続で移動させたり、設定内容を連続で変更します。
決定	決定キー	カーソルの位置を決定して設定内容編集状態にする、または編集内容を確定して次の設定項目へ移動します。
戻る	戻るキー	設定値を保持して、1 つ前の設定画面または状態に戻ります。
前	前キー	前画面に移動します。 数値入力画面では、最後に入力した 1 文字を削除します。
次	次キー	次画面に移動します。
0 ～ 9	数字キー	暗証番号や設定値などの数値を入力します。

■ メニュー構成

- 1 システム設定
  - 1-1 初期設定
    - 1-1-1 時刻設定
    - 1-1-2 暗証番号設定
    - 1-1-3 システム動作モード設定
  - 1-2 機器構成設定
    - 1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）
    - 1-2-2 非常 RM 設定
      - 1-2-2-1 非常 RM 電源設定
    - 1-2-3 業務 RM 設定
      - 1-2-3-1 業務 RM 構成設定
    - 1-2-4 本体・EX 電源パネル設定
    - 1-2-5 アンプ設定
      - 1-2-5-1 アンプモジュール設定
    - 1-2-6 ジャンクションパネル設定
    - 1-2-7 出力系統設定
  - 1-3 非常放送設定
    - 1-3-1 音声警報設定
    - 1-3-2 非常タイマー設定
    - 1-3-3 放送階選択方法設定
    - 1-3-4 EL・階メッセージ設定
    - 1-3-5 SW・EL 設定
      - 1-3-5-1 本体
      - 1-3-5-2 非常 RM
    - 1-3-6 出火階・連動階設定
    - 1-3-7 回線初期値設定・点検
      - 1-3-7-1 回線初期値取得
      - 1-3-7-2 回線初期値確認・編集
      - 1-3-7-3 回線初期値点検
      - 1-3-7-4 パイロットトーン設定
    - 1-3-8 回線グループ設定
    - 1-3-9 EL 制御設定
      - 1-3-9-1 EL モード設定
      - 1-3-9-2 EL グループ割り当て設定
      - 1-3-9-3 EL 設定確認
  - 1-4 機器制御設定
    - 1-4-1 音声入力設定
      - 1-4-1-1 外部放送音声入力設定
      - 1-4-1-2 音声入力接続設定
        - 1-4-1-2-1 PM 音声入力接続
        - 1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続
      - 1-4-1-3 ミックスバス設定
        - 1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定
        - 1-4-1-3-2 ミックスバス制御設定
      - 1-4-1-4 ミュート設定
    - 1-4-2 SW 設定
      - 1-4-2-1 スイッチ動作設定
      - 1-4-2-2 本体
        - 1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定
        - 1-4-2-2-2 チャイム SW 設定
      - 1-4-2-3 非常 RM
        - 1-4-2-3-1 緊急・通常一斉 SW 設定
        - 1-4-2-3-2 チャイム SW 設定
      - 1-4-2-4 業務 RM
        - 1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定
        - 1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定
        - 1-4-2-4-3 一斉 SW 設定
        - 1-4-2-4-4 チャイム SW 設定
    - 1-4-3 ファンクション SW 設定
    - 1-4-4 制御入力設定
    - 1-4-5 制御出力設定
  - 1-5 業務放送設定
    - 1-5-1 業務放送動作設定
      - 1-5-1-1 音声レベル感度設定
    - 1-5-2 優先度設定
    - 1-5-3 同一優先度動作設定
    - 1-5-4 非常断 24V 出力設定
    - 1-5-5 EV 音源音量設定
    - 1-5-6 音量・音質設定
      - 1-5-6-1 音声入力設定
        - 1-5-6-1-1 簡易設定
        - 1-5-6-1-2 設定詳細表示
      - 1-5-6-2 音声出力設定
        - 1-5-6-2-1 音声出力設定詳細表示
    - 1-5-7 作動表示灯設定
  - 1-6 設定初期化
  - 1-7 システム設定の終了
- 2 メンテナンス
  - 2-1 自己診断
  - 2-2 SD カード
    - 2-2-1 設定データ更新（SD → EP）
    - 2-2-2 設定・音源データ更新（SD → EP）
    - 2-2-3 設定データ保存（EP → SD）
    - 2-2-4 設定・音源データ保存（EP → SD）
    - 2-2-5 履歴データ保存（EP → SD）
    - 2-2-6 設定データ比較（SD ⇔ EP）
  - 2-3 ファームウェア更新
  - 2-4 メンテナンスの終了
- 3 システム状態確認
  - 3-1 動作履歴
  - 3-2 故障履歴
  - 3-3 ユニットバージョン確認
  - 3-4 制御入力状態
  - 3-5 システム状態確認の終了
- 4 総合点検
- 5 LCD コントラスト設定
- 6 放送状態マトリクス表示設定
- 7 終了

付属の「FS-2500 設定記入例」に記載されている同じメニュー項目番号の部分を併せてご覧ください。

■ メニューへの入りかた

メニュー ◯

動作選択メニュー

1 システム設定
2 メンテナンス
3 システム状態確認
4 総合点検
5 LCD コントラスト設定
6 放送状態マトリクス表示設定
7 終了

[決定] 項目決定
[戻る] 戻る

決定 ◯

暗証番号入力

暗証番号を入力してください

□ □ □ □

[0 – 9] 直接入力
[戻る] 戻る

0 ◯ ～ 9 ◯ で 4 桁入力

（初期設定：5555）

1 システム設定

1 初期設定
2 機器構成設定
3 非常放送設定
4 機器制御設定
5 業務放送設定
6 設定初期化
7 システム設定の終了

[決定] 項目決定
[戻る] 戻る

■ 時刻の設定

「1-1-1」項目を選択

1-1-1 時刻設定

2017/11/22
23:59

[決定] 変更
[戻る] 戻る

決定 ◯ で編集可能に

1-1-1 時刻設定

現在の時刻を入力してください
2017/11/22
23:59

[決定] セット
[戻る] キャンセル

◀◯ または ◯▶ でカーソル移動

0 ◯ ～ 9 ◯ で数値変更

繰り返す

決定 ◯ で内容確定

1-1-1 時刻設定

2018/10/10
10:00

[決定] 変更
[戻る] 戻る

■ 機器の構成確認

● システム全体の機器構成設定

増設操作パネルの局数および非常 RM、業務 RM の台数を設定します。

「1-2-1」項目を選択

1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）

増設操作パネル	20 局
非常 RM	なし
業務 RM	なし
業務停電	無効
電源機種系列	FS2500 系
本体電源パネル	1 台

[前 / 次] 改画面
[決定] 編集
[戻る] 戻る

◯ で「非常 RM」へ移動

決定 ◯ で編集可能に

1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）

増設操作パネル	20 局
非常 RM	◀ なし ▶
業務 RM	なし
業務停電	無効
電源機種系列	FS2500 系
本体電源パネル	1 台

[決定] セット
[戻る] キャンセル

◯▶ で「なし」→「1 台」に変更

決定 ◯ で内容確定

1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）

増設操作パネル	20 局
非常 RM	1 台
業務 RM	なし
業務停電	無効
電源機種系列	FS2500 系
本体電源パネル	1 台

[前 / 次] 改画面
[決定] 編集
[戻る] 戻る

「非常 RM」と同様に「業務 RM」を「なし」→「2 台」に変更して決定

1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）

増設操作パネル	20 局
非常 RM	1 台
業務 RM	2 台
業務停電	無効
電源機種系列	FS2500 系
本体電源パネル	1 台

[前 / 次] 改画面
[決定] 編集
[戻る] 戻る

次 ◯ で次画面へ

1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）

PM	なし
EX	なし
EX1 電源パネル	----
EX2 電源パネル	----
EX3 電源パネル	----

[前 / 次] 改画面
[決定] 編集
[戻る] 戻る

「FS-2500 設定記入例」では「PM」以降は確認のみ

● 非常 RM の機種･局数などの設定

「1-2-2」項目を選択

1-2-2 非常 RM 設定

No.	機種	ID	増設	電源
1	FS-2500RM	00	20 局	なし
--	---------	--	----	----
--	---------	--	----	----
--	---------	--	----	----

[決定] 編集
[戻る] 戻る

「FS-2500 設定記入例」では初期設定どおりなので確認のみ

● 業務 RM の機種･局数などの設定

「1-2-3-1」項目を選択

1-2-3-1 業務 RM 構成設定

No.	機種	ID	スイッチ数
1	RM-500	00	10 局
2	RM-500	01	10 局
--	----	--	----
--	----	--	----

[決定] 編集
[戻る] 戻る

◯ ◯ ◀◯ ◯▶ で項目選択

決定 ◯ で編集可能に

1-2-3-1 業務 RM 構成設定

No.	機種	ID	スイッチ数
1	◀RM-500▶	00	10 局
2	RM-500	01	10 局
--	----	--	----
--	----	--	----

[決定] 編集
[戻る] 戻る

◀◯ または ◯▶ で

1 台目の業務 RM 機種を「RM-200F」に変更

決定 ◯ で内容確定

1-2-3-1 業務 RM 構成設定

No.	機種	ID	スイッチ数
1	RM-200F	00	10 局
2	RM-500	01	10 局
--	----	--	----
--	----	--	----

[決定] 編集
[戻る] 戻る

◯▶ で「スイッチ数」へ移動

決定 ◯ で編集可能に

1-2-3-1 業務 RM 構成設定

No.	機種	ID	スイッチ数
1	RM-200F	00	◀10 局▶
2	RM-500	01	10 局
--	----	--	----
--	----	--	----

[決定] セット
[戻る] キャンセル

◯▶ で「10 局」→「20 局」に変更

決定 ◯ で内容確定

1-2-3-1 業務 RM 構成設定

No.	機種	ID	スイッチ数
1	RM-200F	00	20 局
2	RM-500	01	10 局
--	----	--	----
--	----	--	----

[決定] 編集
[戻る] 戻る

2 台目も同様に設定する

1-2-3-1 業務 RM 構成設定

No.	機種	ID	スイッチ数
1	RM-200F	00	20 局
2	RM-200F	01	20 局
--	----	--	----
--	----	--	----

[決定] 編集
[戻る] 戻る

● その他の機器構成の設定

「1-2-4」項目を選択

1-2-4 本体・EX 電源パネル設定
ユニット ◀ EP ▶

No.	機種	ID
1	FS-2500DS［非常］	00
--	----	--
--	----	--
--	----	--

［決定］DS 選択
［戻る］戻る

「FS-2500 設定記入例」では初期設定どおりなので確認のみ

「1-2-5」項目を選択

1-2-5 アンプ設定
ユニット ◀ EP ▶

出力系統	機種	ID
1	FS-2500DF	00
2	----	--
3	----	--
4	----	--

［決定］DA 選択
［戻る］戻る

決定 ◯ で「機種」へ移動

1-2-5 アンプ設定
ユニット EP

No.	機種	ID
1	◀FS-2500DF▶	00
2	――――	――
3	――――	――
4	――――	――

［決定］DA 選択
［戻る］キャンセル

決定 ◯ でアンプモジュール設定へ

1-2-5-1 アンプモジュール設定
ユニット EP DF 1

CH	機種	出力系統
1	FS-006DA	1
2	――――	――
3	――――	――
4	――――	――

［決定］編集
［戻る］DF 選択

決定 ◯ で編集可能に

1-2-5-1 アンプモジュール設定
ユニット EP DF 1

CH	機種	出力系統
1	◀FS-006DA▶	1
2	――――	――
3	――――	――
4	――――	――

［決定］セット
［戻る］キャンセル

◀◯ または ◯▶ で
「FS-006DA」→「FS-024DA」に設定変更

決定 ◯ で内容確定

1-2-5-1 アンプモジュール設定
ユニット EP DF 1

CH	機種	出力系統
1	FS-024DA	1
2	――――	――
3	――――	――
4	――――	――

［決定］編集
［戻る］DF 選択

◯ で CH2 の「機種」へ移動

決定 ◯ で編集可能に

1-2-5-1 アンプモジュール設定
ユニット EP DF 1

CH	機種	出力系統
1	FS-024DA	1
2	◀ ―――― ▶	――
3	――――	――
4	――――	――

［決定］セット
［戻る］キャンセル

◀◯ または ◯▶ で
「----」→「FS-024DA」に設定変更

決定 ◯ で内容確定

1-2-5-1 アンプモジュール設定
ユニット EP DF 1

CH	機種	出力系統
1	FS-024DA	1
2	FS-024DA	――
3	――――	――
4	――――	――

［決定］編集
［戻る］DF 選択

◯▶ で「出力系統」へ移動

決定 ◯ で編集可能に

1-2-5-1 アンプモジュール設定
ユニット EP DF 1

CH	機種	出力系統
1	FS-024DA	1
2	FS-024DA	◀――▶
3	――――	――
4	――――	――

［決定］セット
［戻る］キャンセル

◀◯ または ◯▶ で
「--」→「1」に設定変更

決定 ◯ で内容確定

1-2-5-1 アンプモジュール設定
ユニット EP DF 1

CH	機種	出力系統
1	FS-024DA	1
2	FS-024DA	1
3	――――	――
4	――――	――

［決定］編集
［戻る］DF 選択

▲◯ ◯▼ ◀◯ ◯▶ で
CH3 の「機種」へ移動

CH3 を CH2 と同様に設定する

1-2-5-1 アンプモジュール設定
ユニット EP DF 1

CH	機種	出力系統
1	FS-024DA	1
2	FS-024DA	1
3	FS-024DA	1
4	――――	――

［決定］編集
［戻る］DF 選択

戻る ◯ でアンプ設定に戻る

1-2-5 アンプ設定
ユニット EP

No.	機種	ID
1	◀FS-2500DF▶	00
2	――――	――
3	――――	――
4	――――	――

［決定］DA 選択
［戻る］キャンセル

「1-2-6」項目を選択

1-2-6 ジャンクションパネル設定
ユニット ◀EP▶

No.	機種	ID
1	FS-2120JP	00
2	----	--
3	----	--
4	----	--

［決定］JP 選択
［戻る］戻る

決定 ◯ で「機種」へ移動

1-2-6 ジャンクションパネル設定
ユニット EP

No.	機種	ID
1	FS-2120JP	00
2	----	--
3	----	--
4	----	--

［決定］編集
［戻る］ユニット選択

決定 ◯ で編集可能に

1-2-6 ジャンクションパネル設定
ユニット EP

No.	機種	ID
1	◀FS-2120JP▶	00
2	----	--
3	----	--
4	----	--

［決定］セット
［戻る］キャンセル

◀◯ または ◯▶ で
「FS-2120JP」→「FS-2420JP」に設定変更

決定 ◯ で内容確定

1-2-6 ジャンクションパネル設定
ユニット EP

No.	機種	ID
1	FS-2420JP	00
2	----	--
3	----	--
4	----	--

［決定］編集
［戻る］ユニット選択

◯▼ で 2 台目を選択

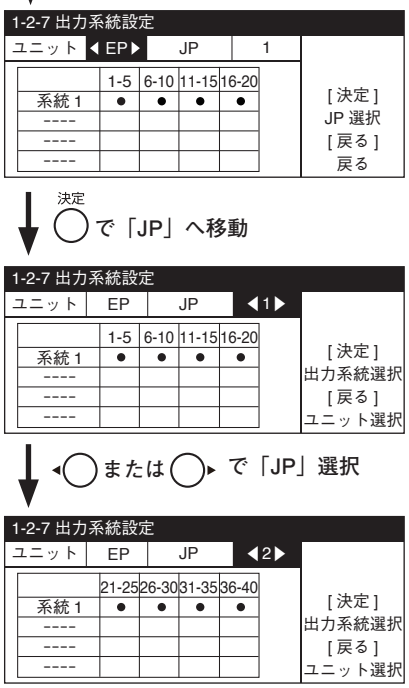
2 台目も同様に設定する

1-2-6 ジャンクションパネル設定
ユニット EP

No.	機種	ID
1	FS-2420JP	00
2	FS-2420JP	01
3	----	--
4	----	--

［決定］編集
［戻る］ユニット選択

「1-2-7」項目を選択



「FS-2500 設定記入例」では初期設定どおりなので確認のみ

■ 非常放送の動作設定

以下の順番に設定します。

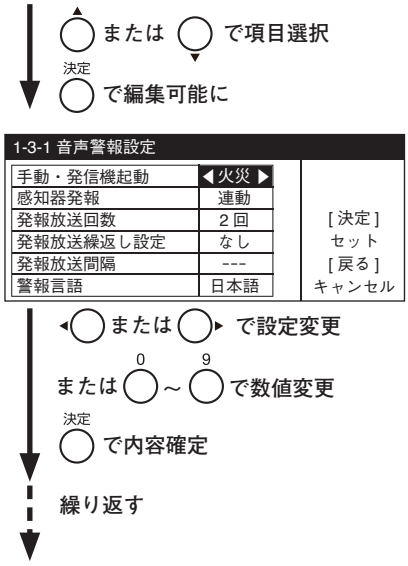
● 音声警報の設定

ご注意

英語以外の外国語によるメッセージを放送する場合は、所轄消防署の許可を得た上で、設定してください。

「1-3-1」項目を選択

「FS-2500 設定記入例」では初期設定どおりなので確認のみだが、変更する場合は以下のとおり

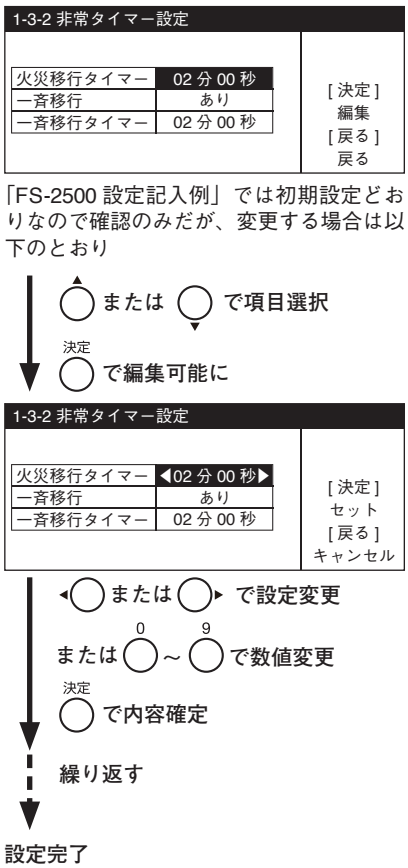


● 非常タイマーの設定

ご注意

火災放送移行タイマーおよび一斉移行タイマーの設定は所轄消防署の指導に従ってください。

「1-3-2」項目を選択



「FS-2500 設定記入例」では初期設定どおりなので確認のみだが、変更する場合は以下のとおり

● 非常放送時の放送階設定

「1-3-3」項目を選択

1-3-3 放送階選択方法設定

自火報階選択連動	連動
手動階選択連動	階別
二度押し復旧	禁止

[決定] 編集 [戻る] 戻る

「FS-2500 設定記入例」では初期設定どおりなので確認のみだが、変更する場合は以下のとおり

▲ または ▼ で項目選択

決定 で編集可能に

1-3-3 放送階選択方法設定

自火報階選択連動	◀ 連動 ▶
手動階選択連動	階別
二度押し復旧	禁止

[決定] セット [戻る] キャンセル

◀ または ▶ で設定変更

決定 で内容確定

繰り返す

設定完了

● 自火報設備との連動設定

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子（EL）に階メッセージを設定します。

「1-3-4」項目を選択

1-3-4 EL・階メッセージ設定

EL 番号	1
階メッセージ	6

[決定] EL 番号選択 [戻る] 戻る

決定 で編集可能に

1-3-4 EL・階メッセージ設定

EL 番号	◀ 1 ▶
階メッセージ	6

[0 - 9] 数値入力 [決定] セット [戻る] キャンセル

◀ または ▶ で EL 番号「6」選択

0 または ～ 9 で数値「6」入力

決定 で内容確定

1-3-4 EL・階メッセージ設定

EL 番号	6
階メッセージ	11

[決定] EL 番号選択 [戻る] 戻る

▼ で「階メッセージ」へ移動

（0 で再生／停止）

決定 で編集可能に

1-3-4 EL・階メッセージ設定

EL 番号	6
階メッセージ	◀11▶

[0] 再生 [決定] セット [戻る] キャンセル

0 ～ 9 で数値「5」「4」を入力

（0 で再生／停止）

決定 で内容確定

1-3-4 EL・階メッセージ設定

EL 番号	6
階メッセージ	54

[0] 再生 [決定] 編集 [戻る] 戻る

▲ で EL 番号選択に移動

EL 番号 7 も同様に設定を変更する

設定完了

出火階と連動階を結びつけます。ジャンクションパネルの各階別信号入力端子（EL）がメイクされたときに連動する EL を設定します。

「1-3-6」項目を選択

1-3-6 出火階・連動階設定

EL 番号 ◀ 1 ▶

[0 - 9] 数値入力 [決定] 連動階選択 [戻る] 戻る

（◎：出火階、●：連動階）

決定 で「連動階選択」へ移動

1-3-6 出火階・連動階設定

EL 番号 1

[前 / 次] 改画面 [決定] セット [戻る] EL 番号選択

▲ ▼ ◀ ▶ で「6」へ移動

決定 で「●」に変更

※ 左端の□へ移動すると、その行を一括で変更できます。

1-3-6 出火階・連動階設定

EL 番号 1

[前 / 次] 改画面 [決定] セット [戻る] EL 番号選択

「7」も同様に「●」に変更

1-3-6 出火階・連動階設定

EL 番号 1

[前 / 次] 改画面 [決定] セット [戻る] EL 番号選択

戻る で EL 番号選択に戻る

1-3-6 出火階・連動階設定

EL 番号 ◀ 1 ▶

[0 - 9] 数値入力 [決定] 連動階選択 [戻る] 戻る

◀ または ▶ で EL 番号選択

または 0 ～ 9 で数値入力

EL 番号 2 ～ 7 も同様に設定を変更する

設定完了

● 放送回線のグループ設定

非常 RM、業務 RM などでグループ放送をするときに必要な回線グループの設定をします。

「1-3-8」項目を選択

1-3-8 回線グループ設定

グループ番号：◀1▶ 制御出力： 未使用

[0 - 9] 数値入力 [決定] 制御出力選択 [戻る] 戻る

決定 で制御出力選択へ移動

決定 で回線選択へ移動

1-3-8 回線グループ設定

グループ番号：1 制御出力： 未使用

[決定] セット [戻る] 制御出力選択

※ 左端の□へ移動すると、その行を一括で変更できます。

▲ ▼ ◀ ▶ でカーソルを移動

決定 で空白を「●」に、「●」を空白に変更

次ページへ

前ページから

移動と変更を繰り返して、回線番号 1 を空白に、回線番号 4 と 7 を「●」にする

1-3-8 回線グループ設定

グループ番号：1　制御出力：未使用

1				●			●			10
11										20
21										30
31										40
41										50

[決定] セット [戻る] 制御出力選択

戻る で制御出力選択に戻る

戻る でグループ番号選択に戻る

1-3-8 回線グループ設定

グループ番号：◀1▶　制御出力：未使用

1				●			●			10
11										20
21										30
31										40
41										50

[0 - 9] 数値入力 [決定] 制御出力選択 [戻る] 戻る

◀ または ▶ でグループ番号選択

0 または ～ 9 で数値入力

グループ番号 2 も同様に設定を変更する

設定完了

● 放送階選択スイッチの設定

FS-2500 本体の放送階選択スイッチの設定をします。

「1-3-5-1」項目を選択

1-3-5-1 本体

SW 番号	1
用途	兼用
業務緊急	なし
出力回線	個別
回線番号	1
EL 番号	EL1

[決定] 編集 [戻る] 戻る

決定 で編集可能に

1-3-5-1 本体

SW 番号	◀ 1 ▶
用途	兼用
業務緊急	なし
出力回線	個別
回線番号	1
EL 番号	EL1

[0 - 9] 数値入力 [決定] セット [戻る] キャンセル

（SW 番号1 ～ 10 は変更不要）

◀ または ▶ で SW 番号「11」を選択

0 または ～ 9 で数値「11」を入力

決定 で内容確定

1-3-5-1 本体

SW 番号	11
用途	兼用
業務緊急	なし
出力回線	個別
回線番号	11
EL 番号	EL11

[決定] 編集 [戻る] 戻る

▼ で「用途」へ移動

決定 で編集可能に

1-3-5-1 本体

SW 番号	11
用途	◀兼用▶
業務緊急	なし
出力回線	個別
回線番号	11
EL 番号	EL11

[決定] セット [戻る] キャンセル

◀ または ▶ で

で「兼用」→「業務」に変更

決定 で内容確定

1-3-5-1 本体

SW 番号	11
用途	業務
業務緊急	なし
出力回線	個別
回線番号	11
EL 番号	---

[決定] 編集 [戻る] 戻る

▲ または ▼ で出力回線へ移動

決定 で編集可能に

1-3-5-1 本体

SW 番号	11
用途	業務
業務緊急	なし
出力回線	◀個別▶
回線番号	11
EL 番号	---

[決定] セット [戻る] キャンセル

◀ または ▶ で

「個別」→「グループ」に変更

決定 で内容確定

1-3-5-1 本体

SW 番号	11
用途	業務
業務緊急	なし
出力回線	グループ
回線番号	11
EL 番号	---

[決定] 編集 [戻る] 戻る

▼ で「回線グループ番号」へ移動

決定 で編集可能に

1-3-5-1 本体

SW 番号	11
用途	業務
業務緊急	なし
出力回線	グループ
回線番号	◀11▶
EL 番号	---

[0 - 9] 数値入力 [決定] セット [戻る] キャンセル

◀ または ▶ で

回線グループ番号「1」を選択

0 または ～ 9 で数値「1」を入力

決定 で内容確定

SW 番号 12 も同様に設定を変更する

設定完了

非常 RM の放送階選択スイッチの設定をします。

非常 RM の放送階選択スイッチの設定を本体と同じにする場合は、「本体と同じ」を選択し決定します。本体と異なる設定にする場合は、「個別設定」を選択して決定します。

以下は、本体と異なる設定にする場合の設定操作です。

「1-3-5-2」項目を選択

1-3-5-2 非常 RM

SW 設定	本体と同じ

[決定] 編集 [戻る] 戻る

決定 で編集可能に

1-3-5-2 非常 RM

SW 設定	◀ 本体と同じ▶

[決定] セット [戻る] キャンセル

◀ または ▶ で

で「本体と同じ」→「個別設定」に変更

決定 で内容確定

1-3-5-2 非常 RM

非常 RM ◀1▶

SW 番号	1
用途	兼用
業務緊急	なし
出力回線	グループ
回線番号	1
EL 番号	EL1

[決定] SW 番号選択 [戻る] 戻る

決定 で「SW 番号」へ移動

1-3-5-2 非常 RM

非常 RM 1

SW 番号	1
用途	兼用
業務緊急	なし
出力回線	グループ
回線番号	1
EL 番号	EL1

[決定] 編集 [戻る] 非常 RM 選択

「1-3-5-1」項目の本体の放送階選択スイッチの設定と同様に SW 番号 11、12 の設定を変更する

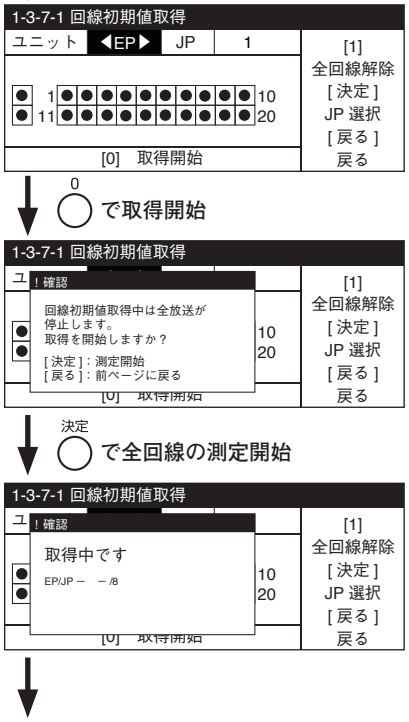
設定完了

● 回線インピーダンスの測定

① スピーカーから音声を出力して良い場合（実測）

ジャンクションパネルに接続されている各スピーカー回線のインピーダンスを実測します。スピーカーから測定用の音声が出力されます。

「1-3-7-1」項目を選択



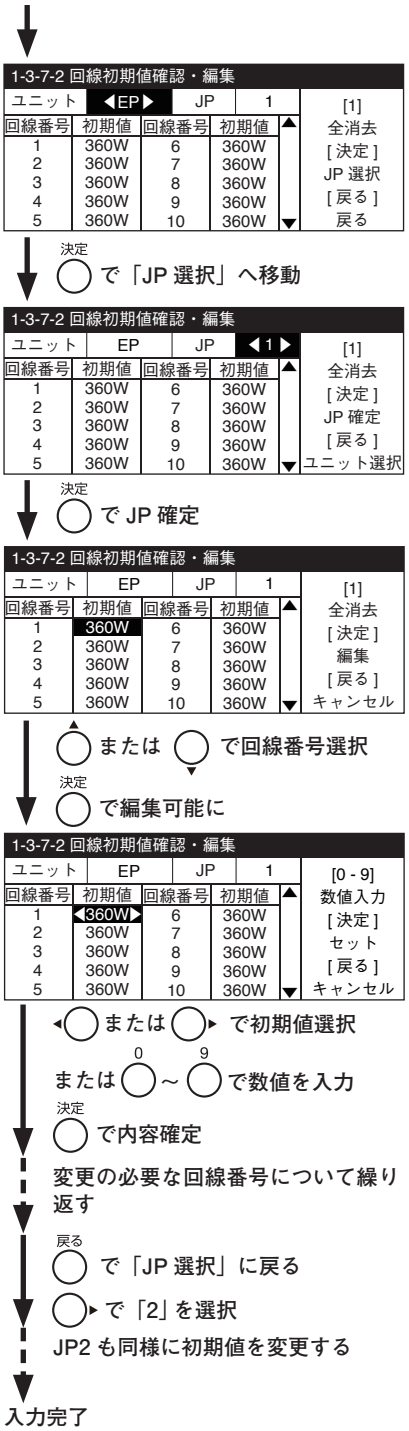
全回線測定完了

取得値を確認するには、次項目「②スピーカーから音声を出力できない場合（手動）」と同様の手順を行い、値を変更しない。

② スピーカーから音声を出力できない場合（手動）

回線インピーダンスを編集し、接続されているスピーカーの公称インピーダンスを入力することで、スピーカーから音声を出力せずに、回線インピーダンスの初期値を手動で変更することができます。
回線インピーダンス測定後に特定の回線のみ手動で変更することもできます。
以下は手動による入力方法です。

「1-3-7-2」項目を選択

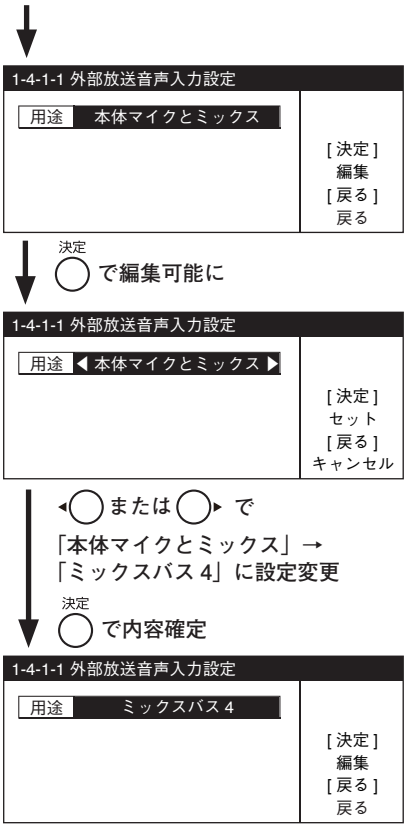


■ 業務放送の動作設定

● 外部放送入力の用途設定

非常用操作パネルにある外部放送音声入力の用途をミックスバスに設定します。

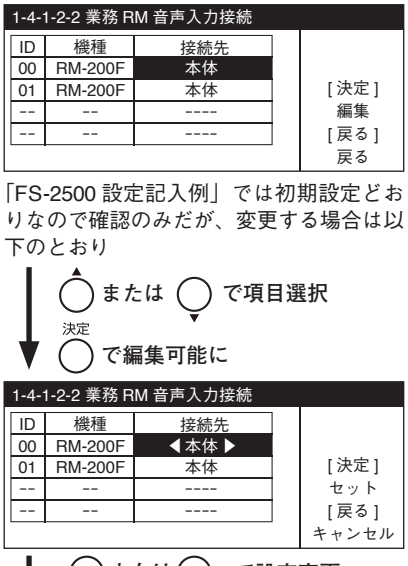
「1-4-1-1」項目を選択



● 業務用リモコンの接続設定

業務用リモコンの音声の接続先を設定します。

「1-4-1-2-2」項目を選択



「FS-2500 設定記入例」では初期設定どおりなので確認のみだが、変更する場合は以下のとおり

● ミックスバスの用途設定

ミックスバスの用途を設定します。

「1-4-1-3-1」項目を選択

▲ または ▼ で

ミックスバス「4」へ移動

決定 で編集可能に

◀ または ▶ で

「業務（放送階選択）」→「業務（制御入力）」に変更

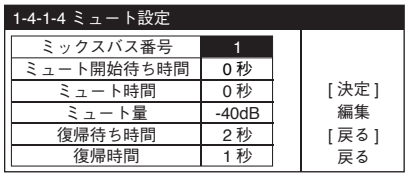
決定 で内容確定

設定完了

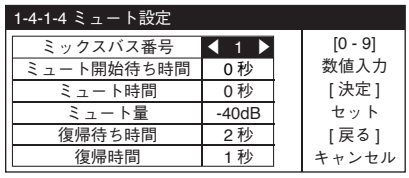
● ミュート設定

ミックスバスのミュート制御の詳細を設定します。

「1-4-1-4」項目を選択

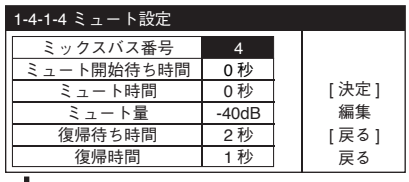


決定 で編集可能に



◀ または ▶ で「4」選択

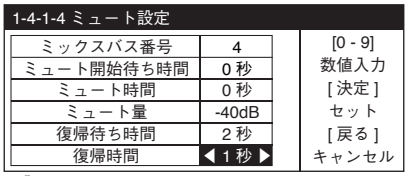
決定 で内容確定



▲ または ▼ で

「復帰時間」へ移動

決定 で編集



◀ または ▶ で

「1 秒」→「0 秒」に変更

0 または ～ 9 で数値「0」入力

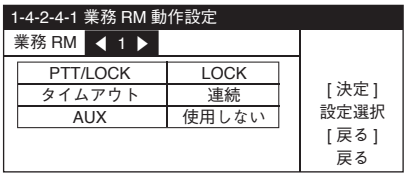
決定 で内容確定

ミュート設定完了

● 業務用リモコンの動作設定

業務用リモコンのトークキーの動作方式、タイムアウト時間、AUX 入力の使用について設定します。

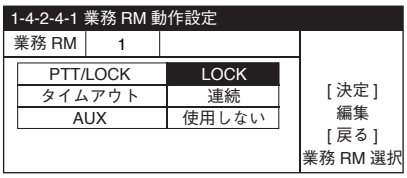
「1-4-2-4-1」項目を選択



「FS-2500 設定記入例」では初期設定どおりなので確認のみだが、変更する場合は以下のとおり

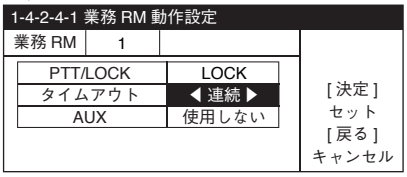
◀ または ▶ で業務 RM 選択

決定 で設定選択へ移動



▲ または ▼ で項目選択

決定 で編集可能に



◀ または ▶ で設定変更

決定 で内容確定

繰り返す

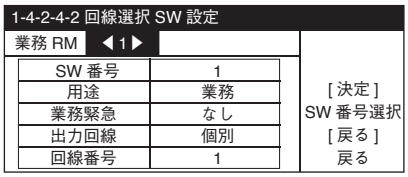
戻る で業務 RM 選択に戻る

繰り返す

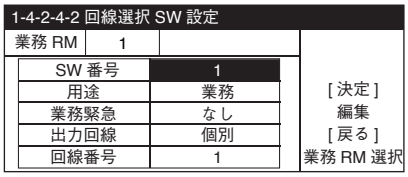
設定完了

業務用リモコンの各回線選択キーについて、用途、通常放送／業務緊急モードの選択、出力回線を設定します。
回線グループ登録にあたっては「1-3-8 回線グループ設定」（P. 24）も参照してください。

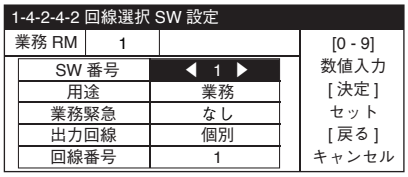
「1-4-2-4-2」項目を選択



決定 で SW 番号選択へ移動



決定 で編集可能に

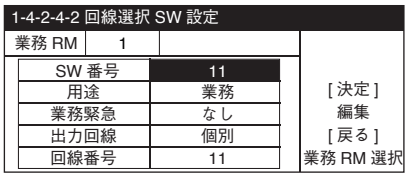


（SW 番号1 ～ 10 は変更不要）

◀ または ▶ で SW 番号「11」を選択

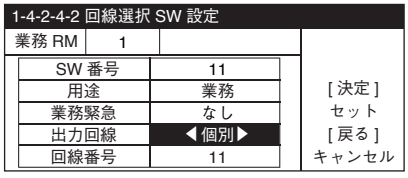
0 または ～ 9 で数値「11」を入力

決定 で内容確定



▲ または ▼ で出力回線選択

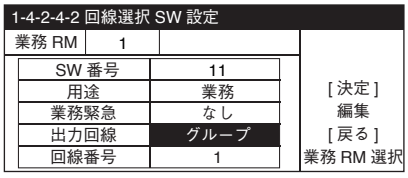
決定 で編集可能に



◀ または ▶ で

「個別」→「グループ」に設定変更

決定 で内容確定



（回線番号は「1」のままで変更不要）

次ページへ

前ページから

▲ または ▼ で SW 番号へ移動

決定 で編集可能に

1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定

業務 RM	1	
SW 番号	◀ 11 ▶	[0 - 9] 数値入力
用途	業務	[決定] セット
業務緊急	なし	[戻る] キャンセル
出力回線	グループ	
回線番号	1	

◀ または ▶ で SW 番号「12」を選択

または 0 ～ 9 で数値「12」を入力

決定 で内容確定

1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定

業務 RM	1	
SW 番号	12	[決定] 編集
用途	業務	[戻る] 業務 RM 選択
業務緊急	なし	
出力回線	個別	
回線番号	12	

SW 番号 11 と同様に出力回線を「個別」→「グループ」に設定変更

1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定

業務 RM	1	
SW 番号	12	[決定] 編集
用途	業務	[戻る] 業務 RM 選択
業務緊急	なし	
出力回線	グループ	
回線番号	1	

▲ または ▼ で回線番号へ移動

決定 で編集可能に

1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定

業務 RM	1	
SW 番号	12	[0 - 9] 数値入力
用途	業務	[決定] セット
業務緊急	なし	[戻る] キャンセル
出力回線	グループ	
回線番号	◀ 1 ▶	

◀ または ▶ で

で回線番号「2」を選択

または 0 ～ 9 で数値「2」を入力

決定 で内容確定

1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定

業務 RM	1	
SW 番号	12	[決定] 編集
用途	業務	[戻る] 業務 RM 選択
業務緊急	なし	
出力回線	グループ	
回線番号	2	

戻る で業務 RM 選択に戻る

▶ で「2」を選択

業務 RM2 も同様に設定を変更する

設定完了

● 外部音源機器との接続設定

制御入力が入ったときの詳細動作について設定します。

「1-4-4」項目を選択

1-4-4 制御入力設定

ユニット	◀ EP ▶	
名称	緊急地震入力	[決定] 接点番号選択
用途	緊急地震放送	[戻る] 戻る
PM 音声入力	----	
番号	1	
業務緊急	----	

決定 で名称選択へ移動

1-4-4 制御入力設定

ユニット	EP	
名称	緊急地震入力	[前 / 次] 改画面
用途	緊急地震放送	[決定] 編集
PM 音声入力	----	[戻る] ユニット選択
番号	1	
業務緊急	----	

決定 で編集可能に

1-4-4 制御入力設定

ユニット	EP	
名称	◀ 緊急地震入力 ▶	[決定] セット
用途	緊急地震放送	[戻る] キャンセル
PM 音声入力	----	
番号	1	
業務緊急	----	

◀ または ▶ で

「外部放送　制御入力」を選択

決定 で内容確定

1-4-4 制御入力設定

ユニット	EP	
名称	外部放送 制御入力	[前 / 次] 改画面
用途	なし	[決定] 編集
PM 音声入力	----	[戻る] ユニット選択
番号	----	
業務緊急	----	

▲ または ▼ で用途を選択

決定 で編集可能に

1-4-4 制御入力設定

ユニット	EP	
名称	外部放送 制御入力	[決定] セット
用途	◀ なし ▶	[戻る] キャンセル
PM 音声入力	----	
番号	----	
業務緊急	----	

◀ または ▶ で「なし」→

「ミックスバス放送」に設定変更

決定 で内容確定

1-4-4 制御入力設定

ユニット	EP	
名称	外部放送 制御入力	[前 / 次] 改画面
用途	ミックスバス放送	[決定] 編集
PM 音声入力	----	[戻る] ユニット選択
番号	4	
業務緊急	なし	

「業務緊急」も同様に

「なし」→「あり」に設定を変更する

「個別／グループ」も同様に「個別」

→「グループ」に設定を変更する

設定完了

制御出力の機能について設定します。

「1-4-5」項目を選択

1-4-5 制御出力設定

ユニット	◀ EP ▶	
名称	制御出力 1	[決定] 接点番号選択
用途	火災放送中	[戻る] 戻る

決定 で名称選択へ移動

1-4-5 制御出力設定

ユニット	EP	
名称	制御出力 1	[決定] 編集
用途	火災放送中	[戻る] ユニット選択

決定 で編集可能に

1-4-5 制御出力設定

ユニット	EP	
名称	◀制御出力 1▶	[決定] セット
用途	火災放送中	[戻る] キャンセル

◀ または ▶ で

「制御出力 2」を選択

決定 で内容確定

1-4-5 制御出力設定

ユニット	EP	
名称	制御出力 2	[決定] 編集
用途	非火災放送中	[戻る] ユニット選択

▲ または ▼ で「用途」へ移動

決定 で編集可能に

1-4-5 制御出力設定

ユニット	EP	
名称	制御出力 2	[決定] セット
用途	◀非火災放送中▶	[戻る] キャンセル

◀ または ▶ で「非火災放送中」

→「火災一斉移行」に設定変更

決定 で内容確定

設定完了

● 業務放送動作設定

放送の種類ごとに、ミックスバス放送ミュート制御のトリガー、対象、および連動チャイムを設定します。

「1-5-1」項目を選択

1-5-1 業務放送動作設定

業務放送	本体マイク放送
ミュートトリガー	音声レベル
ミュート対象	ミックスバス 1-4
開始チャイム	未使用
終了チャイム	未使用

[決定] 編集 [戻る] 戻る

◯ で「ミュートトリガー」へ移動

決定 ◯ で編集可能に

1-5-1 業務放送動作設定

業務放送	本体マイク放送
ミュートトリガー	◀ 音声レベル ▶
ミュート対象	ミックスバス 1-4
開始チャイム	未使用
終了チャイム	未使用

[決定] 感度選択 [戻る] キャンセル

◀◯ または ◯▶ で「音声レベル」→「制御なし」に設定変更

決定 ◯ で内容確定

1-5-1 業務放送動作設定

業務放送	本体マイク放送
ミュートトリガー	制御なし
ミュート対象	ミックスバス 1-4
開始チャイム	未使用
終了チャイム	未使用

[決定] 編集 [戻る] 戻る

▲◯ で「業務放送」へ移動

決定 ◯ で編集可能に

1-5-1 業務放送動作設定

業務放送	◀ 本体マイク放送 ▶
ミュートトリガー	制御なし
ミュート対象	ミックスバス 1-4
開始チャイム	未使用
終了チャイム	未使用

[決定] セット [戻る] キャンセル

◀◯ または ◯▶ で「非常 RM1 放送」を選択

決定 ◯ で内容確定

1-5-1 業務放送動作設定

業務放送	非常 RM1 放送
ミュートトリガー	音声レベル
ミュート対象	ミックスバス 1-4
開始チャイム	未使用
終了チャイム	未使用

[決定] 編集 [戻る] 戻る

本体マイク放送と同様に
ミュートトリガーについて
「音声レベル」→「制御なし」に
設定を変更する

「業務 RM1」および「業務 RM2」も
同様に
ミュートトリガーについて
「音声レベル」→「制御なし」に
設定を変更する

設定完了

● 業務放送の優先度設定

「1-5-2」項目を選択

1-5-2 優先度設定

No.	業務放送	優先度
1	本体マイク放送	2
2	非常 RM1	3
3	業務 RM1	19
4	業務 RM2	20
5	ミックスバス 4	43

[決定] 編集 [戻る] 戻る

▲◯ または ◯▼ で「業務 RM1」を選択

決定 ◯ で編集可能に

1-5-2 優先度設定

No.	業務放送	優先度
1	本体マイク放送	2
2	非常 RM1	3
3	業務 RM1	◀19▶
4	業務 RM2	20
5	ミックスバス 4	43

[決定] セット [戻る] キャンセル

◀◯ または ◯▶ で「19」→「4」に設定変更

決定 ◯ で内容確定

1-5-2 優先度設定

No.	業務放送	優先度
1	本体マイク放送	2
2	非常 RM1	3
3	業務 RM1	4
4	業務 RM2	20
5	ミックスバス 4	43

[決定] 編集 [戻る] 戻る

「業務 RM2」も同様に
「20」→「4」に設定を変更する

「ミックスバス 4」も同様に
「43」→「1」に設定を変更する

設定完了

■ システム設定を終了する

システム設定が完了したら、設定した内容を FS-2500EP に保存して終了します。

「1-7」項目を選択

1 システム設定

! 保存確認
現在の業務放送状態を変更します
設定を保存してシステム設定を
終了しますか？
[決定]: 保存して終了
[戻る]: システム設定メニューに戻る

[決定] 項目決定 [戻る] 戻る

決定 ◯

設定を保存してシステム設定を終了

■ 設定が終わったら

● 自己診断

異常がないか確認します。以下の操作により、定期点検で行う内容を手動で個別に確認できます。

「2-1」項目を選択

2-1 自己診断

全体確認	正常
接続確認	正常
蓄電池点検	正常
アンプ点検	正常
定期点検開始時刻	00：00

[決定] 開始 [戻る] 戻る

▲◯ または ◯▼ で点検項目選択

決定 ◯

点検開始

※ 異常があったときの対処のしかたは、P. 30「異常検知と異常箇所の確認」をお読みください。

● 設定・音源データを SD カードに保存

FS-2500EP に保存した内容を FS-2500EP に挿入された SD カードに保存します。

「2-2-4」項目を選択

2-2-4 設定・音源データ保存 (EP→SD)

! 確認
SD カードに
設定・音源データを保存します。
よろしいですか？
[決定]：実行
[戻る]：メニューに戻る

決定 ◯

2-2-4 設定・音源データ保存 (EP→SD)

ファイル転送中

2-2-4 設定・音源データ保存 (EP→SD)

設定・音源データの保存が
完了しました

[戻る] 閉じる

動作確認・異常箇所の確認

■ 総合点検の設定

通常放送時に近い状態でシステムを動作させて、システム設定が正しくできているかを確認します。
まず、総合点検時の状態を設定します。
初期設定は以下のとおりです。

- スピーカーの音を出力しない。
- 非常断 24 V 出力端子からの出力を制御しない。
- 状態出力、EB 出力、および非常接点を制御しない。
- 非常放送時に動作確認用のメッセージを使用する。
- 非常 RM のモニタースピーカーから音を出力しない。
- FS-2500EP の液晶画面に操作ガイドを表示する。

「4」項目を選択

↓

4 総合点検

SP 回線制御	出力しない	[1] 点検開始
非常断 24V 制御	制御しない	[決定] 編集
状態出力	制御しない	[戻る] 戻る
点検音源	確認音源	
非常 RM モニター SP 出力	出力しない	
非常 LCD 表示	操作ガイド	

総合点検時の状態を変更する場合は以下のとおり

▲ または ▼ で項目選択

決定 で編集可能に

4 総合点検

SP 回線制御	◀ 出力しない ▶	[決定] セット
非常断 24V 制御	制御しない	[戻る] キャンセル
状態出力	制御しない	
点検音源	確認音源	
非常 RM モニター SP 出力	出力しない	
非常 LCD 表示	操作ガイド	

◀ または ▶ で「出力しない」→「出力する」に設定変更

決定 で内容確定

4 総合点検

SP 回線制御	出力する	[1] 点検開始
非常断 24V 制御	制御しない	[決定] 編集
状態出力	制御しない	[戻る] 戻る
点検音源	確認音源	
非常 RM モニター SP 出力	出力しない	
非常 LCD 表示	操作ガイド	

総合点検時の状態が設定できたら総合点検開始へ

1 で点検開始

4 総合点検

総合点検モードを実行します このモードを停止するには、 メニューキーを押してください	[決定] 実行 [戻る] 戻る

決定

↓

点検 1：残り 30 分

確認完了

メニュー

↓

！確認	点検 1：残り 30 分
総合点検モードを終了します よろしいですか？	[決定] 終了 [戻る] 継続

決定

総合点検モード終了

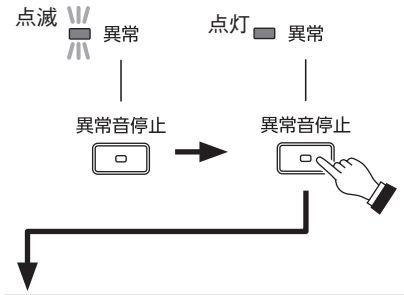
ご注意

- 総合点検モードのまま放置すると通常の放送ができません。
- 無操作状態で 15 分経過すると総合点検モードの終了確認画面（「まもなく総合点検モードを自動的に終了します」のメッセージ表示）が表示されます。終了確認画面表示中に戻るキーを押すと、15 分延長することができます。操作しない状態のまま、さらに 15 分経過すると自動的に総合点検モードを終了します。

■ 異常検知と異常箇所の確認

● 異常検知時の対処のしかた

異常を検出したときは、非常用操作パネル前面右上の異常表示灯が点滅し、異常警告音が鳴ります。
異常警告音を停止させるには、異常音停止スイッチを押します。



⚠ 異常検出

内容：機器間の通信異常
場所：非常 RM1

[A4007]

[決定]：詳細確認　[異常音停止]：終了

決定 で故障履歴へ

3-2 故障履歴　1/1

18/09/06 19:06	EP	⚠ フロントマイク接続	異常
18/09/06 19:06	EP	⚠ フロントマイク接続	異常
18/09/06 19:06	増設 EP1	⚠ 機器間通信	異常
18/09/06 19:06	EP-DS1	⚠ 内部蓄電池	異常
18/09/06 19:06	増設 EP1	⚠ 機器構成	異常
18/09/06 19:07	非常 RM	⚠ 機器間通信	異常

決定 で詳細表示へ

■2018/09/06 19:07:37

非常 RM1−EP 間の通信異常です

非常 RM−EP 間の通信端子（端子台）の接続、非常 RM のアドレス設定、機器構成設定を確認して下さい

[A4007]　[戻る]：キャンセル

● 故障箇所を確認する

FS-2500EP の CPU によって検出されたシステムの故障履歴を確認できます。

「3-2」項目を選択

↓

3-2 故障履歴　1/1

18/09/06 19:06	EP	⚠ フロントマイク接続	異常
18/09/06 19:06	EP	⚠ フロントマイク接続	異常
18/09/06 19:06	増設 EP1	⚠ 機器間通信	異常
18/09/06 19:06	EP-DS1	⚠ 内部蓄電池	異常
18/09/06 19:06	増設 EP1	⚠ 機器構成	異常
18/09/06 19:07	非常 RM	⚠ 機器間通信	異常

▲ または ▼ で履歴選択

決定 で詳細表示へ

■2018/09/06 19:07:37

非常 RM1−EP 間の通信異常です

非常 RM−EP 間の通信端子（端子台）の接続、非常 RM のアドレス設定、機器構成設定を確認して下さい

[A4007]　[戻る]：キャンセル

付　録

■ 登録音源リスト

● 工場出荷時の EV メッセージ

番号	名称	内容
1	チャイム	ウエストミンスターの鐘
2	火災訓練［男声］	訓練放送です。【第 1 シグナル】火事です、火事です、火災が発生しました。 落ち着いて避難してください。【第 2 シグナル】
3	地震訓練［男声］	訓練放送です。【NHK チャイム音】 地震です。落ち着いて身を守ってください。（2 回繰り返し）
4	防犯（学校）［男声］	【防犯警報音】緊急事態が発生しました。先生の指示に従ってください。
5	放課後（学校）［女声］	まもなく下校時間になります。校庭や教室に残っている人は、後片付けをして早く帰りましょう。
6	防犯（一般）［男声］	【防犯警報音】緊急事態が発生しました。スタッフの指示に従ってください。
7	蛍の光	蛍の光
8	開店（店舗）［女声］	本日はご来店いただき、誠にありがとうございます。お時間のお許しになる限り、どうぞごゆっくりお買い物をお楽しみください。
9	閉店（店舗）［女声］	本日はご来店いただき、誠にありがとうございました。またのお越しを従業員一同、こころよりお待ち申し上げております。
10	省エネ（一般）［女声］	リフレッシュタイムの時間です。胸を大きく張って疲れをほぐしましょう。 また、不要な電気は切って、職場の省エネにご協力ください。

● 工場出荷時の階メッセージ

番号	名称
1	地下 1 階
2	地下 2 階
3	地下 3 階
4	地下 4 階
5	地下 5 階
6	1 階
7	2 階
8	3 階
9	4 階
10	5 階
11	6 階
12	7 階
13	8 階
14	9 階
15	10 階
16	11 階
17	12 階
18	13 階
19	14 階
20	15 階
21	16 階
22	17 階
23	18 階
24	19 階
25	20 階
26	21 階
27	22 階
28	23 階
29	24 階
30	25 階

番号	名称
31	26 階
32	27 階
33	28 階
34	29 階
35	30 階
36	屋上
37	駐車場
38	地下駐車場
39	屋上駐車場
40	バックヤード
41	エントランスホール
42	体育館
43	体育館 1 階
44	体育館 2 階
45	講堂
46	階段
47	東階段
48	西階段
49	南階段
50	北階段
51	中央階段
52	塔屋
53	エスカレーター
54	エレベーター
55	エレベーターシャフト
56	エレベーター機械室
57	機械室
58	風除室
59	本館地下 1 階
60	本館 1 階

番号	名称
61	本館 2 階
62	本館 3 階
63	本館 4 階
64	本館 5 階
65	本館 6 階
66	本館屋上
67	本館塔屋
68	本館階段
69	本館エレベーター
70	新館地下 1 階
71	新館 1 階
72	新館 2 階
73	新館 3 階
74	新館 4 階
75	新館 5 階
76	新館 6 階
77	新館屋上
78	新館塔屋
79	新館階段
80	新館エレベーター

※ 番号：階メッセージ番号
　名称：階名称

■ 出荷状態一覧

「1-1-3 システム動作モード設定」

システム動作モード	(通常) / アンプ拡張 A / アンプ拡張 B

「1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）」

増設操作パネル	20 局
非常 RM	台 / (なし)
業務 RM	台 / (なし)
業務停電	有効 / (無効)
電源機種系列	(FS2500 系) / FS2000 系
本体電源パネル	1 台

「1-2-2 非常 RM 設定」「1-2-2-1 非常 RM 電源設定」

No.	機種	ID	増設	電源	
				1 台目機種	2 台目機種
1	FS-2500RM	00	20 局 / なし	あり / (なし)	
⋮		⋮		⋮	⋮
16		0F			

「1-2-3-1 業務 RM 構成設定」「1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続」

No.	機種	ID	スイッチ数	接続先
1	RM-500	00	10 局	本体
⋮		⋮		
4		03		
5		04		なし
⋮		⋮		
8		07		

「1-2-6 ジャンクションパネル設定」「1-2-7 出力系統設定」

ユニット	JP	機種	ID
EP	1	FS-2120JP	00

回線番号

出力系統	1 | 20	|	|	|
1	○			

ユニット	JP	機種	ID
EP	2	ー	01

回線番号

出力系統	|	|	|	|
1				

ユニット	JP	機種	ID
EP	3	ー	02

回線番号

出力系統	|	|	|	|
1				

ユニット	JP	機種	ID
EP	4	ー	03

回線番号

出力系統	|	|	|	|
1				

「1-2-4 本体・EX 電源パネル設定」

ユニット			EP
電源パネル	No.	ID	機種
	1	00	FS-2500DS

（電源機種系列：FS2500 系の場合）

「1-2-5 アンプ設定」「1-2-5-1 アンプモジュール設定」

ユニット			EP		
No.	機種	ID	CH	機種	出力系統
1	FS-2500DF	00	1	FS-006DA	1
			2	ーーーー	ーー
			3	ーーーー	ーー
			4	ーーーー	ーー

「1-3-4 EL・階メッセージ設定」

EL 番号	階情報	
	階メッセージ番号	階名称
1	6	1 階
2	7	2 階
3	8	3 階
⋮	⋮	⋮
20	25	20 階

※ 階メッセージ番号と階名称については、P. 31 を参照してください。

「1-3-1 音声警報設定」

手動・発信機起動	発報 / (火災)
感知器発報	(連動) / 連動停止
発報放送回数	2 回
発報放送繰返し設定	(なし) / 繰り返し / 継続
発報放送間隔	分　秒
警報言語	(日本語) / 二ヶ国語 / 三ヶ国語 / 四ヶ国語

「1-3-2 非常タイマー設定」

火災放送一斉移行タイマー	2 分 00 秒
一斉移行機能	(あり) / なし
一斉移行タイマー	2 分 00 秒

「1-3-3 放送階選択方法設定」

自火報階選択連動	(連動) / 一斉
手動階選択連動	(階別) / 連動
二度押し復旧	(禁止) / 許可

「1-3-5 SW・EL 設定」→「1-3-5-1 本体」

SW 番号	名称	用途								業務緊急	出力回線		EL
		非常	業務	兼用	BGM 1	BGM 2	BGM 3	BGM 4	未使用		個別 / グループ	回線 / グループ番号	番号 / グループ番号
1												1	1
2												2	2
3				○						なし	個別	3	3
⋮	⋮											⋮	⋮
20												20	20

「1-3-5 SW・EL 設定」→「1-3-5-2 非常 RM」

SW 設定	(本体と同じ) / 個別設定

「1-3-6 出火階・連動階設定」

出火階（EL 番号・EL グループ番号） ＼ 連動階（EL 番号・EL グループ番号）	1	2	3	4	5	6	7	8	…	19	20
1	◎	○									
2		◎	○								
3			◎	○							
4				◎	○				…		
5					◎	○					
6						◎	○				
7							◎	○			
8								◎			
⋮					⋮						
19										◎	○
20											◎

「1-3-8 回線グループ設定」

	回線番号		1	2	3	4	…	19	20
グループ番号	名称	制御出力							
1		未使用	○						
2				○			…		
3					○				
4						○			
⋮				⋮					
19								○	
20									○
500			○	○	○	○	…	○	○

「1-3-7-4 パイロットトーン設定」

周波数	400 Hz / 1 kHz

「1-4-1 音声入力設定」
→「1-4-1-1 外部放送音声入力設定」「1-4-1-2 音声入力接続設定」

機器	音声入力	名称	本体マイクとミックス	ミックスバス1	ミックスバス2	ミックスバス3	ミックスバス4	外部音源	接点式RM	業務RM
EP	外部放送		○	／	／	／		／	／	／

「1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定」

ミックスバス	用途
1	業務（放送階選択） / 業務（制御入力） / BGM 1 / BGM 2/ BGM 3/ BGM 4
⋮	
4	

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-2 本体」
→「1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定」

スイッチ	回線グループ番号
緊急一斉	*500*
通常一斉	*500*

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-3 非常 RM」
「1-4-2-2 本体」と同じです。

「1-3-9-1 EL モード設定」

EL モード	個別 / グループ

「1-4-1-4 ミュート設定」

ミックスバス番号	1	2	3	4
ミュート開始時間	*0* 秒			
ミュート時間	*0* 秒			
ミュート量	*–40* dB			
復帰待ち時間	*2* 秒			
復帰時間	*1* 秒			

「1-4-1-3-2 ミックスバス制御設定」

ミュート制御判定方法	ミュートトリガー / 優先度のみ

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」

動作設定	通常モード / 独立制御モード

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-2 本体」→「1-4-2-2-2 チャイム SW 設定」

SW 番号 ＼ 音源番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1	○			
チャイム 2		○		

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定」

PTT/LOCK	PTT / LOCK
タイムアウト	分 / 連続
AUX 入力	使用する / 使用しない

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定」

回線選択スイッチ	名称	用途		緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
		業務	未使用			
1		○		*なし*	*個別*	*1*
2						*2*
3						*3*
⋮	⋮					⋮
20						*20*

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-3 一斉 SW 設定」

スイッチ	名称	緊急	回線グループ番号
一斉		*なし*	*500*

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-4 チャイム SW 設定」

SW 番号 ＼ 音源番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1	○			
チャイム 2		○		

「1-4-3 ファンクション SW 設定」

ファンクションスイッチ	名称	用途		音源番号	緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
		EV 放送	未使用				
F1			○	ー	ー	ー	ー
F2				ー			
F3				ー			

「1-4-4 制御入力設定」

ユニット	制御入力	名称	用途														番号	緊急	個別／グループ	回線／グループ番号
			個別放送	BGM1放送	BGM2放送	BGM3放送	BGM4放送	回線選択	接点式RM放送	接点式RMチャイム	緊急地震放送	EV放送	EV放送停止	ミックスバス放送	時刻補正	未使用				
EP	緊急地震入力		／	／	／	／	／	／	／	／	○	／	／	／	／		*1*	ー	*グループ*	*500*
	外部放送制御入力								／	／	／					○		ー	ー	ー

「1-4-5 制御出力設定」

機器	制御出力	名称	用途														
			音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	業務放送中	業務緊急放送中	放送中（接点式RM）	リモコン（接点式RM）	保守点検中	異常発生中	出力回線グループ連動	未使用
EP	制御出力 1				○							／	／				
	制御出力 2					○						／	／				

「1-5-1 業務放送動作設定」

業務放送動作 ＼ 業務放送	ミュートトリガー					ミュート対象					開始チャイム					終了チャイム				
	音声レベル	放送階選択	トークスイッチ	制御入力	制御なし	ミックスバス1－4	ミックスバス2－4	ミックスバス3－4	ミックスバス4	全てカット	1：上り4音	2：下り4音	3：2音	4：ゴング	未使用	1：上り4音	2：下り4音	3：2音	4：ゴング	未使用
本体マイク放送																				
非常 RM1 放送																				
⋮																				
非常 RM4 放送	○																			
業務 RM1 放送						○									○					○
⋮																				
業務 RM4 放送																				
ミックスバス 1																				
⋮	○																			
ミックスバス 4																				

「1-5-1-1 音声レベル感度設定」

音声レベル ＼ 業務放送	開始感度	終了感度
本体マイク放送	*–30* dB	*–40* dB
非常 RM1 放送		
⋮		
非常 RM4 放送		
業務 RM1 放送		
⋮		
業務 RM4 放送		

「1-5-2 優先度設定」

業務放送	優先度（1 ～ 60）
本体マイク放送	*2*
非常 RM1 放送	*3*
非常 RM2 放送	*4*
非常 RM3 放送	*5*
非常 RM4 放送	*6*
業務 RM1 放送	*19*
業務 RM2 放送	*20*
業務 RM3 放送	*21*
業務 RM4 放送	*22*
EV 放送 1	*1*
EV 放送 2	
EV 放送 3	
ミックスバス 1	*40*
ミックスバス 2	*41*
ミックスバス 3	*42*
ミックスバス 4	*43*

「1-5-3 同一優先度動作設定」

優先度	動作
1	後取り優先 / 先取り優先
～	
60	

「1-5-4 非常断 24 V 出力設定」

非常断端子	業務中動作
＃1	継続 / カット / 緊急カット
＃2	継続 / カット / 緊急カット

「1-5-5 EV 音源音量設定」

音源	音量
EV 放送メッセージ 1	*0* dB
⋮	
EV 放送メッセージ 10	
チャイム 1	*–10* dB
⋮	
チャイム 4	
点検音源 1	*–10* dB
点検音源 2	*–20* dB

「1-5-6 音量・音質設定」→「1-5-6-1 音声入力設定」→「1-5-6-1-1 簡易設定」

音声入力	音量	低域ゲイン	高域ゲイン	COMP.	しきい値
本体マイク	―	*0.0* dB	*0.0* dB	ON / OFF	*–6* dB
外部放送入力	―			ON / OFF	
非常 RM	―			ON / OFF	
業務 RM	*0* dB			ON / OFF	

「1-5-6 音量・音質設定」→「1-5-6-2 音声出力設定」

ユニット	出力系統	音量	プリセット
EP	*出力系統 1*	*0* dB	*なし*

「1-5-7 作動表示灯設定」

表示モード	回線動作中 ON / 通常

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） 0120-108-117 ナビダイヤル　0570-064-475（有料） FAX　0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）	

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ　https://www.toa.co.jp/

TOA 株式会社

133-02-00547-01